明治三十九年八月十日第三種郵便物認可

京城日報

本紙定價 一部金五錢 一ケ月 前金 … 六ケ月 … 一ケ年 …
廣告料 五號十四字詰一行 … 特別 …
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話番號 … 振替京城 …

世界主義と民族主義（二）

貴族院議員 文學博士 澤柳政太郎氏（講演速記）

國際聯盟成立以來今日迄に於ける經過に對して我々日本人の多くの人々は其の出來榮への思つたよりも甚だ不十分であるこいふこごを申して居るのであります。主唱者である所の合衆國は未だ是に加入するに至らないのみならず或は反對する所の意見が合衆國こしては多數を占めて居るこいふ樣な情勢にあります隨つて國際聯盟は或る言葉を以て申したならば甚だ不出來な

寧ろ出來損

ひであるこいふこごも云へるかも知れませぬが併し乍ら兎に角然う云やうな關係が今日では三十有餘箇國の間に結付いて居るのである所ういふこごが假令曲りなりにも出來たこいふこごは是は人類の歴史に於て特筆大書すべき大事件であるご思ふのであります斯程の大事件が其の最初から見事に成立しないで、其處に幾多の障碍が起り幾多の失敗があるこしても夫れは寧ろ當然のここ、謂はなければならぬ實際に於て此空前の大事業が何等の差障りもなくスラ〳〵こ物の見事に若出來たこしたならば夫は

慥に不思議

であります今日に於て國際聯盟の效果に就て種々なる批評或は時々嘲笑的の言を弄ぶ、或は其の前途を危むものがあるこいふこごは私は夫れを寧ろ當然であるこ思ふのであります併し乍ら極めて大體から是を觀察して見まするこ世界の趨勢は既に此の方面に向つて進み來つて居るのであります。昔からして四海兄弟の思想若くは人類は平等であるこいふやうな思想が段々濃厚こなり鮮明こなり、而して終に一の制度……假令夫れが不完全な出來損なひこは云つても一つの制度に形造らるゝやうになつたこごは是は段々に成行つたもので即ち大勢でありまして

人間の歴史

あつて以來の是は大體の趨勢であるこ云つて宜しいこ思ふのであります決してウヰルソン氏の力強い主張に依つてのみ若くはウヰルソン氏の顏を立てるが爲に列國が不承々々に國際聯盟なるものを承知したものであるこいふが如きものではない。成程直接に其の關係其の成行きを見ましたならば其の趣きもありませうけれごも、畢竟是は人間の赴くべき所して國が其の進むべき所に進んで斯ういふ形になつたものご見るこごも出來やうこ思ふのであります。只今申す如くに人道の思想或は世界主義こいふやうな思想から申しましたならば國際聯盟猶ほ

狹隘なる所

があるこ謂はなければならぬ。是は更に進んで全人類が一體こなり眞に四海を兄弟こなり其の人種の如何を問はず恐く人間こして平等の地位に立ち然うして各其生を樂み幸福を享くるやうになるの日も必ず來るであらうこ思ふのであります。何故ならば是は人類の固有する本能の發露であるからであります。但し斯の如き日が何年の後に來るかこいふこごは今に於て明言は出來ぬここであつて勿論相當の年處を要する事こ思ふのでありますが兎に角人道の思想が段々力を得て継き然うして

夫が具體化

し、事實こなつて現れるこいふこごは何等不思議ではなく寧ろ當然の成行きであるこ考へて宜からうこ思ふのであります。而して斯の如き人道主義を稍他の言葉で云ひ表はしたものを世界主義こ申して宜からうこ私は思ふのであります、此主義は人類の理想こでなければならぬ。而して今日幾多の國を成し或は民族こして成立つて居る是等國民民族の理想は結局は世界主義に向つて進んで往きつゝあるものであるこ思ふのであります

年頭の大阪より（上）

矢野義一郎

恭賀新年 陳者小生義阪以來僅に三ケ月を經過したるに過ぎ不申候爲め未だ闇中模索たるを免れず候目下大に大阪の研究中に御座候左に御無沙汰御詫かた〴〵愚書呈上仕候

本年の年賀狀

小生は年末年首に際し總路、神戸、京都及び大阪の各郵便局に於ける通信事務の狀況を調査致し候處本年度の年賀郵便は其物數の如きは詳細調査中に有之候へ共大體に於て昨年よりは約二割内外の増加の如く認められ申候例年の變化し私製葉書の減少するこ共に官製葉書の使用者著しく増加致し候又小包郵便の年賀狀頗る減少致し候爲め取扱ひ上の不便を減じ大に郵便局員を喜ばせ申候蓋し名刺入の封筒は之を把束するに困難にして且頗る散亂し易きのみならず新聞紙又は他の郵便物中に混入するの虞有之候爲め郵便局員の取扱ひ上少からず苦心ご困難ごを感ずるものに御座候又今年は例年よりも市内相互間發著の年賀狀著しく増加したるは市中の通信を省略したるもの多きを證し申候されば京都の某車夫の如きは昨年に比し甚だしき收入減なりしを歎じ居たる程に候

年賀狀ご廣告

大阪にては年賀狀を單純なる賀狀こして差出すもの外に之れを廣告にも兼用せるもの少なからずされば一人にて一時に二萬以上を發信せしものも之有候程に候廣告こしての年賀狀は頗る廉價に之有候のに葉書三萬枚こしても僅に四百五十圓に過ぎず候既に廣告たる以上は不景氣なればなる程之れを差出す要多き次第に御座候以上の年賀郵便の外年賀用の印刷物を自動車に滿載して大阪中央郵便局に持ち込み府縣別に區分して差出されたるもの之有大に郵便局に於て利便を感じ申候

案内狀ご書留

大阪市内の某會社より新年の宴會の招待狀を特に書留こして發送したるものあり其理由を聞くに年首に際しては各人宛ての郵便少からざるを以て受信人中には多數の來信を年賀狀こ誤認する虞あるが爲特に書留郵便こして案内狀を發送したりこのここなり實に注意深き發信者こも云ふべし世には往々普通の書狀を年賀狀こ誤認するもの少からざるもの、如し

危險なる復舊論

法學博士 平沼淑郎氏

△何事も舊きに復せよこいふ所謂復舊論なるものは時世の變移に際して必ず起る所の思想である。假へば戰亂の後に於て社會の組織が其根柢より轉覆する秋、若くは又國家が衰亡に傾いて其の社會の根柢が動搖する秋斯樣に世が變ずる秋に當つては必ず此復舊論が擡頭する。是は支那の歴史に見るも或は羅馬の歴史或は歐羅巴各國の隆替興亡の跡を温ねて見る時に於ても何れも其の時の變じて居る際に必ず一種の復舊說が行はれて居るのを見るであらう

△此の復舊なるこも一面より見れば或は穩健こも謂へやうが併し乍ら又他の一面より是を見れば甚だ危險なるものであるこ謂はなければならぬ。何こなれば先づ第一に時勢の進歩に順應しないこいふこごが起るからである。凡そ世の中こいふものは常に駿々こして進歩して居るものである。而して此の進歩に付ては進歩すべき理由があつて進歩するのに拘はらず其の進歩の階段に立ち乍ら徒らに古に還れこ謂ふ。夫れは第一論理に合ないのみならず進歩の途に大なる障碍を來すこごは明かであるこ思ふ。

△一例を舉げて見るこ彼の歐羅巴に於ける産業革命に際して有名なるチャルテスの亂が起つて居るではないか。チャルテスの亂は今更說明する迄もないここであるが一言にして謂へば新しく出來た機械工業を破壞して古の産業組織に還れこいふのである。日本内地に於ても東海道に鐵道が敷設された時東海道五十三驛の人には過ぎし封建時代を夢みて此の文明の交通機關を呪咀して已まなかつた。斯の如く時世の變遷に際して起る所の復舊論は其時勢の進運に順應せざる甚だ不自然なる思想であつて所謂私の變時に於ける三大危險思想の一こする所のものである。

雞林百話（五）

劍花坊

僕の年始狀は毎年自分が下手の譜をのたくらして、其上へ自分の句を題したものを配るのが例になつてゐる、去年は人間の顏やうな猿を描いて笑はれた。今度も雉子こも山鳥こもわからないが、雞でも畫かうか、こ思つたが、拳そのここ天鷄初日の意匠を、こ大きく出て、眞赤な太陽を描き、其中へ黑色の鶏を棲ませるかはりに、白色の雞を現した、句は最初

初日の出雞の村は雞の聲

こやつた、が、まだ川柳を知らない人に『ハ、ア川柳ちうものは、月並の發句のやうなものじや』などこ早合點されてはたまらないこ、左の如く更めた。

町を出て初日を拜む芝の海

江戸時代には僕の住んでゐるあたりがかうだつたらう、後に濱御殿（今の濱離宮）が出來たり、埋立が有つたりして、次第にこの氣分が無くなり、僅に前住所の高輪に其面影を留めてゐるだけだ。

大募集

自動車貸与

内地滿鮮到る所に乘合自動車線路を募集す何人こ雖も有望の線路を御通知の方には本校卒業生を運轉手及技師こして派遣し自動車を無料貸與す

詳細の規定書を至急申込べし

東京市京橋區南紺屋町 東京自動車學校

文學士小倉進平著 朝鮮語學界の權威たる先生の新著

國語及朝鮮語のため

菊版總クロース金文字定價三圓五十錢送料二十三錢

京城本町 振替京城二貳參 電話二五九 ウツボヤ書籍店

八千代羅紗マント 防寒

（特價表）◎將校マント（頭巾肩裏付）

先づ地質見本と特價表を請求せらるべし 其地質の優良と安價なるに驚くべし

八千代羅紗既製品部

◆和漢 辭書界の最高權威 服部文學博士 小柳學習院教授 共著

詳解漢和大字典

全國中等學校五百餘校の指定書に特選せらる

四六判最上製本一千五百餘頁 最新式索引及草字便覽附 定價參圓五十錢郵税廿四錢

あく迄進歩せる現代式漢和字典にして換索自由、在來の字書の有せざる一切の長所特色を網羅し、一般用並人向こして便利を極め、實務家の歡迎は日に加はり、學生の有すべき漢和字典は一に本書に限れりこは教育界一致の推獎なり

百廿七版

文學博士上田萬年 文學博士上田敏 兩先生共著

正譯英和新辭典

袖珍形 革美本千二百六十頁◆壹圓八拾錢郵税十錢 廿七版

三高教授小田切文學士 四高教師チールフアールト先生共著

新註解和獨辭典

袖珍形 革美本七百頁◆參圓五拾錢郵税十八錢 十九版

文學博士 上田萬年先生著

ローマ字でひく國語辭典

袖珍形 革美本千五百五十頁◆定價貳圓郵税十錢 廿九版

四高教授篠原文學士 同士岡本文學士 合著

英和熟語大辭林

四六判堅牢美本千二百廿頁◆參圓五拾錢郵税十八錢 第六版

各内容見本進呈 東京神田 富山房 振替一〇一

好評を博しつゝある 最新科學研究の賜物たる

實用望遠鏡

特價一個 貳圓九十錢

發賣元 寺尾商店 東京市麴町區飯田町四ノ一六 振替東京七六四〇

請負公告

一、三町三丁目共同便所改築工事
右來一月十四日午前十一時入札ス希望者ハ當府門前ノ掲示ヲ見ヨ

京城府

人力精米麥機

運轉安樂 精白迅速 保證附 實物御試驗を乞ふ 詳細圖入說明書は申込次第進呈

製造元 大阪西區市岡町 東亞物產會社

中央工學校

機械電氣本科 建築土木本科 機械高等科 電氣高等科 建築高等科 土木高等科 生徒募集

東京神田猿樂町五

種苗

春季代價表送呈

大阪市天王寺伶人町 大阪種苗株式會社

メリヤス 毛織物 大廉價

メリヤス
シヤツ股引 一組 參圓五拾錢 四圓 四圓六拾錢 五圓
同 半毛一組 六圓 六圓五拾錢 七圓
同 純毛一組 拾貳圓 拾參圓 拾四圓 拾五圓 拾六圓
シヤツ又ハ股引ノミナラズ右値段ノ半額
ラクダ衿巻 貳圓五拾錢 參圓 四圓 五圓 六圓 七圓
ラクダ毛布（色合白赤トキ色）一枚續キ上等品 六圓八拾錢
送料メリヤス一組五拾五錢 毛布七拾五錢

○品質ハ時價ヨリ三割安イ ○品ニ一不吟味ノ品ナシ ○萬一不向ノ節ハ取換又ハ返金ニ應ズ

メリヤス 毛織物 問屋 杉江商店 東京本所區押上町一四〇 振替東京一三六一五番

周易家相 岡村介石 京城明治町二丁目

撲造品續出す御注意

オキシパサー

定價金參拾九圓

血液の洗滌と體質の改造
虚弱者病者は一日も早く其苦惱を除かるべし

大日本オキシパサー商會 東京麴町有樂町一ノ三 電話丸の内六九三・振替東京二八三二一番

オキシパサー總代理店 京城府黄金町一ノ六〇 居森松次郎 電話九〇五番
取扱店 龍山驛前 松本商店
京城日報社代理部 電話三〇六二番

安心して買へる

總ゴム靴

黑二圓 赤二圓半 黑三圓 赤三圓半 …

東京市日本橋區横山町三丁目 モトヤマ 御送金は振替東京六六五番へ

第一回決算報告

貸借對照表（資產）

科目	金額
未拂込株金	[illegible]
保證金	[illegible]
有價證券	[illegible]
仮渡金	[illegible]
土地家屋	[illegible]
貸金	[illegible]
什器	[illegible]
船舶	[illegible]
振替貯金	[illegible]
未收入金	[illegible]
受取手形	[illegible]
山林	[illegible]
商品在庫	[illegible]
創立費	[illegible]
牛馬	[illegible]
工場	[illegible]
貯藏品	[illegible]
印紙	[illegible]
未經過保險金	[illegible]
合計	[illegible]

貸方

科目	金額
資本金	[illegible]
借入金	[illegible]
假受金	[illegible]
預り金	[illegible]
未拂手形	[illegible]
支拂勘定	[illegible]
銀行	[illegible]
當期純益金	[illegible]
合計	[illegible]

右ノ通リニ候也

大正九年十二月

株式會社石崎商店

取締役社長 石崎久三郎
專務取締役 石崎治吉
常務取締役 石崎清四郎
常務取締役 石崎甚吾
取締役 式村茂

前記各項ノ調査ヲ遂ゲ其正確ナルコトヲ保證候也

監査役 杉原佐一郎
同 藤平泰一
同 長澤總司

時間表 南行 北行 [illegible]

教育制度改正の四大方針
第一回教育調査會の決議
大體に於て學務局より提出せる參考案を承認

朝鮮教育令の根本方針を更改すべき臨時教育調査委員會第一回會議は既報の通り去る七日より總督府第二會議室に於いて開催せられ水野政務總監委員長として會議を統裁、李完用侯以下各委員出席、第三日よりは江原素六氏出席し四日間會議を續行學務局より參考として提出せる左の案件に就き慎重審議を重ねたり

學務局の提示したる案の大要

(1)普通學校の修業年限は六年を本位とし必要に應じ之を四年迄短縮し得ること
(2)普通學校の入學年齡は從來八年以上なりしを六年以上としたること
(3)高等普通學校、女子高等普通學校は從來修業年限四年の普通學校を卒業したる程度の者を入學せしめたるを修業年限六年の普通學校を卒業したる者としたること
(4)高等普通學校女子高等普通學校の修業年限は從來に比し各一年を延長したること
(5)實業學校の入學資格は從來修業年限四年の普通學校を卒業したる程度の者を收容する定めなりしを修業年限六年の普通學校を卒業したる者を豫科又は本科に入學せしむることに改めたること
(6)實業學校の修業年限は從來二年又は三年なりしを五年（豫科を含む）まで延長したること
(7)專門學校に入學し得る者は修業年限四年の高等普通學校を卒業したる者たりしを五年の高等普通學校を卒業したる者に改めたること
(8)新に大學及其の豫備教育の途を開くこと
(9)新に師範學校を設けたること
(10)各學校の內容程度を內地のものと同樣とすること但し朝鮮語漢文を必要に應じ加ふる爲め多少教授時間數に差異を生ず
(11)內地の學校と連絡を期す
(12)教科書採定の範圍を擴張すること

右に對し各委員は交々陳述を重ね主として學制そのものに就いて審議し實行に關する問題は一切次回に讓る事となりたるが四日に亘る審議の結果委員會は大體に於て當局の方針即ち學務局よりの參考案を承認し更に一層の考慮を加へ以て慎重審議を重ねる事とし第四日午前十一時澤柳博士より答申案の提案あり各委員は右答申案を附議し午後二時左の答申を水野委員長より齋藤總督に提出し茲に第一回會議を終了したり

答申

今回諮問せられたる朝鮮教育制度の改正に關し審議の上當局の提示せられたる要項は大體適當のものたるを認め左記の大綱を決議せり然れども教育制度の改正たる極めて重大の案件にして尚十分慎重に考慮すべきものたるを以て當局に於て本決議に基き且各委員の陳述したる所を參酌して相當案を具し更に第二回以後の審議に附せられむことを望む

記

一、朝鮮に於ける教育制度は民度事情の許す限り內地の教育制度に準據すること
二、朝鮮人の教育に關し特別の制度を設くる場合に於ても各制度の下に內鮮人を教育するを妨げざること
三、內地と朝鮮とに於ける學校の聯絡を一層密にすること
四、向學心を尊重し事情の許す限り之に應ずる施設を爲すこと

間島撤兵了る
陸軍省發表

第十九師團の琿春間島出動部隊は臨時部隊特置部隊として旅團長の指揮せる步兵二大隊を除く外本月七日を以て鮮內に引揚げを終れり（東京電報）

露國憲法會議

前露國憲法會議員等は本日當地に於て會議を開きアフグセンチエーフ氏を議長に選擧せり氏の演說に曰く露國の普通選擧によりて選出されたる代議士として吾人の衷心より望む所は露國の名譽と利益とを擁護せんとするにあり併も吾人は故國に一步も踏み入る能はざるを以て國外にて之が運動をなさんとするものなりと（巴里九日發電）

石井大使の聲明
海軍縮小に關して

石井駐佛大使は在巴里紐育イブニング通信員に語つて曰く「若し米國にして大海軍國と協定して造艦の休止を實行せんには日本は第一に其協定に贊成する國の一たるべし」と而して同大使は數字を擧げて日本艦隊の米國艦隊より遙かに劣勢なるを示せり（紐育九日發電）

日本の撤兵通告
小幡公使から支那へ

間島撤兵問題に關し小幡公使は間島に於ける支那軍隊の配置を了り治安が完全に維持せらるゝの見込つきたる場合には當然撤兵すべし併し日本は未だ支那側の準備が完成したりとは認めず從つて今日全部の撤兵をなす事は不可能なりとの公文を支那政府に送れり（北京十日發電）

「日本は戰を好まず」
シユールマン博士の演說

十八年に亘りてコーネル大學總長たるゼーコッブ、シユールマン博士は其の軍備縮小贊成演說中「米國と競爭の地位に立つものは獨り日本と英國あるのみなるが予は最近日本訪問に依りて日本人は平和の紐と國際間の戰爭を解決せんと欲し已むを得ざる場合にあらずんば戰爭を爲さざることを確信せり」と述べたり（紐育八日發電）

ベルグソン渡支
オイケン博士は辭退

佛蘭西の哲學者ベルグソン氏は北京大學堂の招聘に應ずる旨答へたるが明後年渡支する事に決せり尚は本年渡支の筈なりし獨逸の碩學オイケン博士は老齡の故を以て辭退せるが別に經濟學の大家を招聘すべく人選中なり（北京九日發電）

ハースト系の中傷

テキサス州ハーリンゲン發の排日系統の報道によれば墨西哥に派遣の米軍事探偵は墨西哥陸軍の約四分一が日本將校の訓練を受け居るを發見せりよりて日本人のテキサス州移住は戰鬪目的を有すとの說行はる以上は排日派ハースト系統の捏造電報と見做さる（桑港九日發電）

セミヨノフ將軍
突如奉天に現る
張巡閱使を訪問　尚一兩日滯在する

セ將軍一行六名十日午前十時來奉ヤマトホテルに入り貴志少將其の他の來訪ありたる後午後三時半城內に張巡閱使を訪問し晚餐の饗應を受け歸館せるが尚一兩日間滯在すべきかと（奉天特電）

米國の大海軍政策

次期大統領ハーデング氏は下院海軍委員會議長バトラー氏と會見し列國が是非とも軍備を縮小すべしと云ふ協定に到達する迄は米國は世界最强の海軍國たるの地位を保つべしとなす問題につきて意見を交換せり尤も世界の大勢を看取したる上ならざれば最後の決定を下し難きもハーデング氏の現在の態度は豫定計畫を着々進捗せしめ軍艦の建造を繼續する事を將來政治方針の一とするにありと見受けらるバトラー氏はハーデング氏に對し軍艦建造縮小に關しては各國を說き世界的輿論を喚起すると同時に國際聯合の計畫より全然はなれて互に意見の交換を求めては如何と勸說せり（マリオン九日發電）

一大快報
近きに在らん　將軍の目的

セ將軍に隨行來奉したる補佐官某氏の談に曰く將軍の來奉要件は今直に言明する能はず然れども病身の彼が其の不便を忍びて行動するは單なる一個の光客と見る能はざるべし故に遠からず何等かの快報を齎す所あるべしと信ず殊に過激派に對する日本の國策變更されたりと傳へられつゝある際なれば其の行動には特に注目の要あるべし又將軍は今敗殘の身を某所に寄せ居れりと雖も張作霖氏との關係及び在西伯利亞並に北滿方面の反過激其の他在外大公使とは非常に親密なるものあれば其の來訪の要件も亦言を要せずして自ら明白なるべしと（奉天特電）

軍人團と移住協定

米國在鄉軍人團の一表及び古き在米日本代表者間に協調會を開きカリフォルニア、グランド平原の日本人移住問題に付き協定する所あらんとす在米日本人は其の排日在鄉軍人團は同州州會が一千八百九十七年に居住外國人に土地所有權なしとの案を通過せる書類を發見せり（米港八日發）

對露通商會社設立

十日市內某所に[illegible]

海軍の航空政策
航空隊擴張の前提として　先づ內容充實の計畫

海軍航空隊を現在の橫須賀佐世保の外大正十二年度迄には二箇所に新設す呉舞鶴は二箇所に新設すべきが我が國の如き海岸線長き國の沿岸防備の設備としては之を以てしても尚は不足なるを以て更に要港部所在地を始め重要の地點に增設するの必要ありとの議論あるも技術其の他の關係上我が國の如き航空隊の擴張を計るには先づ內容の充實に努むるを急務とすとの說有力にて海軍當局は此の方針の下に計畫を進めつゝあり之が爲め曩に航空術並に航空機製作研究のため多數の技術家及び技工を米國其の他の先進國に派遣し且つ十年度に於ては

發動機 輸入を始め英國飛行將校を招聘して航空術研究を爲す筈なりと尚ほ航空學校は現在の橫須賀航空隊に附屬せるもの一校に過ぎず之を擴張して十分ならしむべしとの說あれども海軍にては飛行將校を得るの途に就き研究中にて數年前より下士の志願者を航空隊にて練習をなさしめ來り其の成績良好なるを認めたるを以て將來一層

下士官 の養成に努むべき方針なるが一面に於て飛行將校たるに十分なる地位は一特科將校たるに關聯して地位改善をなすべく考慮中なりと（東京電報）

御下賜金
學士院へ

十日畏き邊より帝國學士院に對し左の御沙汰ありたり（東京特電）

一金一万圓　帝國學士院へ

學術の研究と進步をはかり學界に貢獻する所少からざるにつき思召を以て御下賜あらせらる

兩陛下沼津へ
三月中御駐輦

天皇皇后兩陛下には二月早々葉山御用邸に御避寒相成三月末迄御駐輦あらせらるゝ事に御內定あらせられたる旨靜岡縣廳に內報ありたり（靜岡發電）

產業部長會議
十日より開會

府縣產業部長會議第一日は十日午前九時より富士見町農相官邸に於て開會遠藤東京府產業部長其他二府四縣の產業部長及本省側よりは田中次官岸月勅參其他各局課長出席し先づ田中次官立つて一場の挨拶あり次いで協議事項に付き各所管局長より說明あり之に對して各產業部長の質問應答ありて午後四時散會せるが尚ほ會議は三日間續會の筈なりと（東京電報）

米の投賣防止
協議會開會

帝國農會にては十日午前十時より同會樓上に於て米穀投げ賣り防止に關する協議會を開催し東京、大阪、京都、岡山、茨城、埼玉、新潟、山口、福岡、千葉、神奈川、兵庫、福島、愛知、愛媛、秋田の三府十三縣の代表者列席し該協議會の決議に基き米投げ賣り防止實行後の經過に就き各代表者よりの報告あり正午一旦休憩し午後一時再會[illegible]

世界最初の女議長

最初どすゞ夫人は其の夫スミス氏の死により空席となれる議席を襲ひたるものにして[illegible]

マドラス州は印度諸州中特に重要なる地位を占むる事となれるが[illegible]議會の一班を窺ひ得べきが議長[illegible]式を施行あらせらるべし（マドラス九日發電）

伊集院元帥重態か

十日畏き邊より伊集院元帥に對し葡萄酒一打を御下賜あらせられたるが同元帥は風邪の氣味ありたる事なれば或は急に病氣危篤に陷りたるにはあらずやと（大阪電報）

各府縣務部、整理資金融通問題等に付協議せり（東京電報）

信託銀行總會

日本信託銀行は來る二十九日午後二時より大阪商業會議所に於て株主總會を開催し當期利益金百三十萬三千八百八十一圓（株主へ配當年八朱）の承認を附議すべし

吾等は斯く審議せり
精神的開發の途甚だ幾くば大過無きに至らん　富の增進亦之に伴うを要す
大藏省參事官衆議院議員　三土忠造氏談

今回總督府が吾々調査委員に諮問された順序は、內地の教育會議などでは、譬へば『中等教育に關し改正を要する點ありや、有れば其方法如何』と云ふ風に提案されるのであるが、全然左樣な形式に據らず、唯總督の挨拶の中に朝鮮の教育に關して意見を聽き度いと云ふ意味を述べられて其の議を進むるに就ては極めて吾々を

自由な地位 に置かれた。但し參考書類として朝鮮の學制の系統を大體印刷したものを配付せられたが、これは單に參考に資したもので之れによりて我々の考へは少しも拘束された譯では無い、全く自由に忌憚なく意見を交換した結果、大體四ヶ條の答申案を得たわけであるが、朝鮮教育制度の根本方針として內地の教育制度にして朝鮮に施行し得るものは特別の事情なき限り之を施行すること、內鮮人の共學を認むること、朝鮮教育機關の聯絡を計ること、朝鮮人の向學心を滿足せしむることであつて

此方針の下 に總督府は更に詳細なる具體案を作成して三月東京に開催せらるゝ第二回會議に詳論することゝなるのである此の四ヶ條は從來の統治の精神に稽へその將來の成果に察し朝鮮の文化を向上せしめ朝鮮人の幸福を計る爲めに最も適切なる方針として全員の一致した意見であつて此の方針の下に具體的成案を得て其運用を誤らなかつたならば朝鮮の精神的開發の途は大過なきに至るものと信ずる但しその實施に當つては民度の向上涵養が之に伴ふて離る可からざる問題であつて之に要する巨額の

費用の負擔 は內地人も朝鮮の爲めに之を辭するものでないけれども朝鮮人も一日も早くその富を增加し自ら負擔に堪ゆる時期を促進せねばなるまい。今日、內地人の朝鮮に在るもの僅に卅五萬にして其の增加率極めて遲々たる觀あるは朝鮮の經濟力より見て當然のことであらう、事業の上から察するも朝鮮全體の力が內地の一府縣のしかも都市を除いた力にしか匹敵せぬ、三十五萬人の內地人の中總督府の二億の豫算によりて衣食して行くものを除き眞に非業のために、朝鮮の經濟のために引きつけられてゐる內地人を數へたら僅に二四萬を出ないであらうまた朝鮮に散布せる銀行の事業

資金の貸出 しは總額一億五六千萬圓との事であるが內朝鮮の預金は八千萬圓即ち他の八千萬圓は內地から移入して來てるではないか、それに東拓其他朝鮮で仕事をしてる所の事業會社の株券は殆ど皆內地人のもので、內地の資本ならざるは無しと言つてよい、斯の如き貧弱なる經濟力を以て進んで文化の制度を採用し文明の民たるの域に進せんとするのであるから悟ことは朝鮮人それ自體の大なる奮發とを要望せねばならぬ、徒らに上滑りの空騷ぎなどに心を奪はれる時ではあるまい、此こと共に吾々は內地からも資本を移入し朝鮮の興業力を增加し朝鮮の

物質文明と 精神文明と相伴うて進步するの日の一日も早からん事を期せねばならぬ

朝鮮の增師
十年度より實施か

朝鮮の增師問題は其後著々具體化し來り愈々大正十年度より實施する事となりたるもの〻如く大庭軍司令官が退京延期も陸軍省と打合せの爲めなりと觀測せらる（東京特電）

內地より進んだ制度
具體案に對する興味と期待
貴族院議員文學博士　澤柳政太郎氏談

調査會で決定答申した條項は極めて大體の方針であつて當局は之に則つて最も進んだる形式によりて具體案を作成すること、思ふ朝鮮の教育は要するに朝鮮の教育である全然內地の通りには行くまい

朝鮮が將來 內地と同一となる政治的に經濟的に社會的に渾一融和して其間に差別なきに至ることはもとより理想とするところであつて、所謂同化するところであつて、又予の如きは朝鮮の歷史に鑑みて必ずその可能なるを確信するものであるがさりながら、今日、內地の教育制度と雖も必しも完全無缺なるものではない、中には頗る議論も多きに係はらず改正するに至らず膠柱の嘆久しきに亘るものもあるのである、故に今回大體に於て

內地の制度 にして朝鮮に施行し得可きものは之を施行する事を認め卽ち將來或は高等女學校、中學校を朝鮮人が經營し朝鮮人を收容するが如き場合を想像する事が出來るけれども、必ずしも全部內地の制度を移入するにも當らぬのである假令ば內地の大學令の如き其第一條に於て幾多の議論を存するところであり

師範學校の 如きまたその名稱に對して異論多い次第なればこれらは必ずしも內地の大學令をそのまゝ施行せずして朝鮮大學令を制定し師範學校を置かずして全く新しく教育中學を設くるが如き內地の教育界が多年苦んで解決せざる問題に關しては朝鮮の教育制度に於て却て一步進んだる對案を執り得ると思ふこれが余等の眼より見て極めて朝鮮教育制度の

新定に就て 興味と期待を有する點である

答申を基礎として
著々改正の目的へ
弓削幹事談

臨時教育調査委員會は教育制度の大綱を審議し四箇條の答申をする事になりましたが答申の各項共に當局の大體案を承認しておりますが各委員から種々の陳述がありましたので將來は此の意見を參酌して教育令の改正案を更改し更に第二第三の會議を開いて夫々審議決定を見る筈です

大學設置は各委員共大賛成 でしたが委員會の審議內容が制度に關するもののみで未だ實行に關してはなかつたので實行方法には之れで朝鮮教育の大方針が確立された[illegible]

稀有の鮮米移出
二個月間に六十三萬石

大正九年度の朝鮮米作は非常の豐年なりし結果鮮米の內地移出は頗る多量に上り十一、十二兩月間にて既に約六十三萬石の移出を見昨年に比して約二十萬石の增加なりと

朝鮮からの詠進歌
二百餘首に達す

本年歌御會始詠進歌總數は二萬六千六百九首にて其の內皇族御詠進歌は三首、御前披講歌四十六首、華族詠進は百十六首、官吏及び有位有勳者の詠進は千二百十首其他は一般よりの詠進なるが其の內內鮮在住者の詠進歌は二百十八首なり（東京特電）

次は東京で
教育調査の第二回會議

朝鮮教育制度の大綱を決定閉會したる臨時教育調査委員會は來る三月初旬東京に於て其の第二回會議を開催し今般決定せる大綱に基き慎重審議を決定す可しと

公債賣出し

來る一月二十日より二月五日迄郵便局所に於て左記條件に於て公債の賣出をなすべし

値段▲五百圓券四百六十七圓五十錢▲百圓券九十三圓五十錢▲五十圓券四十六圓七十五錢▲二十五圓券二十三圓三十七錢

元金大正十四年六月一日返金利子年五分を三月一日、六月一日、九月一日、十二月一日の四度に支拂ふ利廻年七朱所得稅一切之を要せず

淨法寺中將動靜
釜山各部隊巡視

淨法寺第二十師團長は十日夜來釜鐵道ホテルに滯在中なるが十一日午前九時より陸軍運輸部、憲兵隊、守備隊等を巡視し午後六時より鐵道ホテルに於て陸軍運輸事務に關係ある人々を招き晚餐會を催す筈（釜山電報）

內務局長東上

總督府內務局長大塚常三郎氏は政府委員として議會に列席するため十一日朝東京へ出張を命ぜられたり

乘車賃の拂戾し
期間延長さる

從來旅客が乘車前に乘車を見合せたる場合は發賣驛に於て發行當日に限り賃金の拂戾しをなし來りたるも今回改正の結果通用期間內は何日なりとも是が拂戾しを發賣驛に於て實施する事となれりと

布施氏講話

豫て支那事情に精通し『北支那正報』の主筆として一層親しく現時の支那を研究したる布施知足氏今回入城につき國際親和會にては特に同氏に請ひ左の如く講話ありと

▲演題　現今の支那　▲時日　一月十二日午後四時　▲場所　銀行集會所

自繩自縛の不賣同盟
平均賣の意見有力

別項帝國農會の米投賣防止協議會は秘密會となし各代表者より府縣の狀態を報告する所ありたるが各代表者に於ても農家を鞭撻し初期の目的を達せんとしつゝあり尤も決議實行前より米價は反撥し見たるも當時の大勢には抗し得難く新米著しく軟調を呈し農家は前途を悲觀し且つ金策に窮し窃かに投賣をなすものもあり其の結果は期せずして米價の下落を誘致し到底三十五圓の相場を實現し得ざる模樣なれば此の際に於て投賣防止を繼續せんとする時は正直に決議を固守せる當業者を不利に陷らしむるにすぎざるを以て投賣防止よりも平均賣を實行して現在の米價を維持するため平均賣及各府縣米格附を協定するを得策とするの意見續出したり然るに米不賣同盟を打切りて平均賣を實行するに至らんか今日迄持ちこたへたる當業者は一齊に持米を手放すべく斯くては米價の下落を來す虞あれば之が對策を講ずる事こそ必要なるも之がため現在の米價維持には多大の苦心を要すべしと（東京電報）

朝鮮の民間自動車
陸軍省で調査

今回陸軍省にては朝鮮に於ける民間自動車の實況を調査する事となり自動車隊附陸軍省軍務局課員輜重兵大尉立石益太郎氏に調査を命じ同大尉は十日來城目下京城の自動車を調査中なるが同氏は兼ねて朝鮮軍司令部の狀況をも視察すべしと

辭令

朝鮮總督府監獄醫　內田詮藏　西大門監獄在勤を命す
同　八柳利三　京城監獄在勤を命す
敎誨師　巖常圓　大邱監獄在勤を命す
同　津村淸澄　京城監獄在勤を命す
同　古澤慧誠　大田監獄在勤を命す

腦脊髓膜炎

兵一名は二日何れも流行性腦脊髓膜炎に罹り衛戍病院に入院したり[illegible]

一等（二十五名）[illegible]

寸碧

▲東亞煙草の支那輸入は從來無稅であつたが一月一日から從價稅を課せらるゝ事になつた、從つて同社の製品は支那に於て多少の値上げを見るであらうが、是が爲め今日まで東亞煙草の無稅を理由として納稅を拒んで居た米トラストが全然口實を失つて了つた……これは痛快である▲齋藤總督しみ〴〵述懷して曰く『この四五日間は新聞を見た事がない……』と新年早々教育調査會議から教科書調査會議へ、其の間には政務も見れば訪客にも接する――一日として席の溫まる暇もない總督としては全く無理もない話だ▲朝鮮に在る縣伊三郎氏から久ぎの樣な大正十年新春新作俗謠及び鴨綠江節を此の程京城の某氏に寄せ來つた曰く『去年のうきことみなめにしてことしやよい歲西の春』（俗謠）▲『旅順口、のぼる朝日の御旗のひらめく御代の春、萬歲々々萬々歲』（鴨綠江節）

訂正　前號に天民氏著『朝鮮の旬』とあるは誤につき訂正す

人事消息

▲赤木萬次郎氏（平壤中學校長）十日夜入城京城ホテルへ
▲關本幸太郎氏（大田中學校長）同上
▲吉村鐵道部一部長　釜山へ
▲頭本元貞氏　朝鮮ホテルへ
▲河合弘氏（朝鮮民報社長）[illegible]
▲村上秀一氏（東拓支店參事）十一日朝木浦へ
▲市川均氏（步兵中佐）今回歩兵大佐に任ぜらる
▲柳賀漢氏（步兵大尉）[illegible]
▲岩谷虎雄氏（二等獸醫）十日夜歸城
▲松井房次郎氏（前總督府稅關長）十日附出府
▲赤池濃氏（警務局長）[illegible]
▲江幡直氏（總督府判事）[illegible]
▲志賀良三郎氏（京城郵便局長）[illegible]
▲黑田竹二氏（陸軍技師）[illegible]
▲上島政一氏（平壤府參事）十日入城

公會私會

◎運送業組合總會　南大門驛運送業組合にては十日午後四時より總會を開催し[illegible]

東亞日報解停

東亞日報は十日附を以て解停せられ[illegible]

曇少雪

自十日午後六時　至十一日午後六時

農村に及せる影響（四）

財界變動の朝鮮産業界に及ぼしたる影響

總督府農務課長　篠原英太郎氏談

蠶業に及ほしたる影響

敍上の如き狀態にして昨年に於て春夏秋蠶を通じ一石約九十圓を唱へたりし繭の價格は本年に於ては僅に五十五圓見當に過ぎざる狀況なるを以て養蠶者は結局賣り惜みを爲し苦心の結果自家に於て幼稚なる器具に依り紬等の織物を製するもの少からざりしが如しこ雖其の絹織物も價格崩落せし爲是亦非常なる打擊を蒙るに至れり尚は朝鮮産繭は從來鮮内に之れを消費すべき製絲場少きを以て主こして繭仲買人の手に依り内地に移出されしもの多かりしが敍上の如き經濟界の動搖は俄然金融梗塞を來し爲に繭仲買人は資金融通の困難を感じ著しく其數を減少したるを以て甚だしく繭取引の圓滑を缺くに至れり而して一面製絲業者に在りては前途を悲觀し購入に一時躊躇せるが爲充分の原料を充し能はざりしが如く又前年來の景氣に煽られ新に製絲場を設立せる者は繭購入資金に困難し營業の開始をなす能はず又之れが設立を計畫せるものは中止の止むなきに至れる等其の影響益し尠からざりき

畜牛及牛皮の影響

近年畜牛及び牛皮の内地移出は著しく増加したりしが財界變動の結果内地に於いては畜牛は購買力の減少に連れ朝鮮牛の需要減退し牛皮は工業原料品こしての需要激減したるを以て一時に價格の暴落を來せり然るに内地財況は波及を受くること遲緩なる朝鮮の農村に於いては價格の變動緩漫なりしを以て一時内地移出は不引合こなり殆ご移出杜絶の狀態を現出せり然れども内地移出の杜絶の結果は商況の弛緩ご成結局最高時に比し四五割方の低落を見るに至れり斯くして内地移出は稍引合ふこと成たるも偶々夏期に際し例年に見る閑散期に遭遇し内地の買氣緊張を缺きたるこ金融の梗塞こは更に移出の減退を招致せり然れども秋季に入り農繁期に需要思はしからざりし反動こして稍需要を增進したるこ共に牛價の下落を利用して商談容易こなり商況頓に活躍を呈し八月以降に於て一萬七千頭の牛を移出せり惟茲に注目すべき現象は財界好況時に於て移出牛は西北鮮地方を根據こして仕入れたるも財界變調後は仕入地を南鮮方面に限り西北鮮地方の仕入杜絶したる一事なり此の原因は近時銀相場の下落及支那大饑饉の餘波は山東牛の價格下落を來し多量の靑島牛肉輸入せらるゝに及び内地肉價の下落こなり最早大形の鮮牛を移入するの要なきのみならず財界悲觀の人氣は價格の少額なる南鮮小形牛の移出を喚起するに至れり。

私鐵の現勢こ對策（二）

西鮮殖鐵常務　西島新藏

朝鮮私鐵の現狀こして當面の標的たるものは産業鐵道會社の解散なり、而して此會社破綻の原因は上述の如く、朝鮮各私鐵會社の共有する所なり、果して然らば産業鐵道の

解散防止策は 是やがて朝鮮會社の救濟策ならざるはなし、産業鐵道解散の止むべからざることに付き論ずる者曰く政府保護態度の軟弱、財界金融の梗塞・朝鮮鐵道計畫根本策の未確立是なり、此れ共に朝鮮私鐵事業の缺陷こするに何人こ雖異議を唱ふる所なからん、解散論者か此點を高唱し、株主及會社當事者が此點を苦痛こするに對しては、寧ろ一般の同情する所なり、されご上記の三點は會社創立の當初に於て、或ものは既に其狀態にあり、或ものは當然豫見され得べきものなりしなり、未だ會社創立前に於て

此缺陷を指摘 し會社創立を非議したらんには其の理由は一點異議を挿む餘地なかりしなり然れども一度會社を創立し、其の資金が既に一定の事業に迄投下さるべく集中された以上輕々しく之を解散して他を顧みざるに至りては、吾人の到底與する能はざる所なり、解散は即ち最後の手段にして、此最後の手段を執る迄に、當初の目的に向つて有らゆる手段を講ぜざるべからず、未だ其手段を講ぜずして、忽ち創立し忽ち解散するが如きは財界を惑亂し事業界を弄するものこ云ふべし手段こは何ぞや、政府の保護態度を此機會に於て有利に導き

官民協力して 金融の圓滑を計り、更に進んで朝鮮鐵道網の根本策を立することこ是なり。此等の問題は諸種朝鮮問題解決の前提こして、現朝鮮私設鐵道が事業の一端をして、促進し開拓すべき運命なり、事業遂行上の過程なり、當然進むべき進路ならざるはなし、此の開拓すべき運命を拓かず、此孰るべき過程を進らず此進むべき路を進まずして徒らに其方針を一變するは、恰も岩盤の固きに恐れて工事を中止するこ一般なり解散の理由に同情すべくして其實行に與する能はざるは此故ならずんばあらず果せる哉、一方に於て解散問題の惹起せられたる

朝鮮私設鐵道 界は一方に於て總督府の保護態度を漸次有利に導き、金融業者亦幾分緩和の態度を示すに至らんこし朝鮮鐵道根本問題に向つても亦官民の考慮動かんこす、吾人は既に總督府が拂込年八朱十ヶ年の補給をなす意あるを確かめ又全鮮商議大會に於て・朝鮮の上下が如何に私設鐵道を重大視しつゝあるやを知り得たり、産業鐵道の解散日此の傾向に依り解散の運命より免かれ得べき可能性を有することゝなれり、吾人は總督府の

態度漸く強硬 ならんこし、鮮内官民の輿論鐵道熱等にありこすれば、産業鐵道重役たるもの、此形勢を利用して猛進せば、其解散防止は敢て難事にあらざるべしこ信ず

鹽田動力利用

廣梁灣鹽田は從來水車に依りて鹹水の移汲をなしつゝあるが追々事業の擴張に伴ひ電氣動力を利用するの必要に迫られ豫て設備の計畫ありたるが平壤電氣興業會社の工事進捗を共に岐陽を經て直接同社より送電せしむこことなるべしこ（鎭南浦）

誹毀事件成行　近々解決か

舊臘中平壤に於ける問題の一こして世人注視の的こなりつゝありし平壤商業會議所評議員に對する革新會誹毀事件は其後鮮銀平壤支店支配人及東拓平壤支店支配人兩者の間に立ち之が調停に盡力しつゝありしこは已に報道せるこころの如し然るに同問題は年末に際し保留の形こなり居たるが新年こ共に更にその歩を進めたる結果此程に至り漸く無事解決するの曙光を認むるに至りたるを以て近く解決を見るに至るべし（平壤）

平壤公設浴場　十日より開業

平壤府に於ける社會事業の一たる公設浴場は昨夏以來西門通りの機業傳習所の西隣に最新式煉瓦造りにて建設中のところ、舊臘愈之が竣成を告げたるを以て十日開業することゝなり十四日までは新築落成披露こして大人二錢小人一錢にて入浴せしめ十五日よりは大人四錢小人二錢にて入浴せしむる由なるが毎日の開場時間は正午より午後十時までなりこ（平壤）

軍人分會寒稽古

安東在郷軍人分會にては既報の如く八日午後一時より劍道會開式を擧行したるが明石分會長の祝詞あり後藤[illegible]師範は武道の起源及び練習に關する一場の訓話を爲し終つて石橋教師道場開きの式等あり數番の試合あり午後四時散會したるが引續き九日午後六時より三週間に亙る稽古をなすべく會員は素より一般青年の參會を歡迎する由（安東縣）

平年に比べると暖いか　餘寒が嚴しからう

雪の少いのは地勢の關係　甚ふいふ統計を示してゐる

例年ならば降つた雪が凍つて歩行にも隨分困難な平壤地方昨今の氣候は本年は珍しくそうした苦痛がなくて先づ

何より結構と 云はねばならぬさてその暖かさが平年や昨年に比してどれだけの差があるかこ先づ統計に表はれたこころでは次の樣である

日順		本年	昨年
一日	最高	一度六分	○下五度九分
	最低	○下六度五分	○下二十度三分
二日	最高	○下三度五	○下四度二
	最低	○下十二度三	○下十五度四
三日	最高	○下六度	○下七度七
	最低	○下十六度二	○下十六度九
四日	最高	○下四度二	○下八度六
	最低	○下十五度七	○下二十二度一
五日	最高	○下一度○	○下四度五
	最低	○下十一度七	○下二十度
六日	最高	○下三度	○○度三
	最低	○下十二度八	○下十四度○
七日	最高	○下一度九	○下○度九
	最低	○下十度九	○下九度四

以上の統計によつて見るこ本年は昨年よりも一般に最高溫度も最低溫度も

高い樣である 之れから見ても本年の昨年より暖かいこ云ふことが立證することが出來るが然し更に精細に調べて見るこ昨年の暮から今年にかけて平年に比べるこ三十一日が十度高く一日が九度程高い溫度を示してゐる然し二日からは平年の溫度こはそう大した差がないこ云ふことである

今後のことは 當局の方でも確定的に云ふことは出來ないが今の氣候から云ふこ本月中旬から眞正に寒くなるだらうから餘寒は例年よりも一層寒からうこ語つてゐる昨年暮南鮮地方は非常に雪が多かつたが平壤附近は割合に雪が少かつたそれは當時西海岸に僅な低氣壓が現れて極く僅少の降雪を見たが之は

地勢の關係上 南鮮地方に比して降雪量が少かつたので之こて今後ごう云ふ變動を來すかは今の處豫測することは出來ないそうである（平壤）

仁川で初めての試み　素人歌留多大會

紀元節の佳辰を卜し　我社仁川支局の主催

我社仁川支局にては來る二月十一日紀元節の佳辰を卜して春の家庭娛樂こして最も高尚多趣味の加留多大會を催す事こした特に『素人』こ云ふ冠詞を附たのは一般家庭の婦人方にも普通的に加はつて貰ひたいこの意味から

競技の趣味に であるが從來仁川には加留多界の權威こ認めらるゝ連會があり京仁の爭覇を試みつゝある許りでなく毎年一回は必ず其大會があるのを例こし所謂妙技神に入つた玄人筋の競技はあつたが未だ曾て一般的に參加の出來る素人連の大會は無い即ち仁川では素人加留多會は實に最初の試みこ謂ひ得る譯である、人に巧拙があり熟不熟があるのは爭はれないが大凡參會せらるゝ方の内で選手こ認めらるゝ

技倆を持つ人 の外は總て同等こして抽籤組合せをする、そして一敗失權こ云ふ普通の加留多會の規約通りに行くから果して誰が入賞戰内に這入るかは頗る興味がある譯である松の内に樂園豐かに電燈の下夜の更くにも知らで集まる若き人々は仁川には數限りなくなる之等の人が派手の舞臺での競技、日頃鍛つた腕の冴えを最も鮮やかに大廣間で試めす、思ふだに若き血は湧き返るだらう、婦人も小供も好い學生も好い青年も宜しく苟くも上の句一字で下の句が讀める

敏感な頭腦の 持主は悉く來つて其技倆を試めすべきである一等以下十等迄賞品を贈り本社並に連會よりの寄贈金メタルの外多くの副賞も呈する競技の方法其他詳細に亘つては逐次發表する事こする

日記帳から（三）

京都にて　吐雲山人

三、同文同種であるこ云ふ事は一面から見れば兩民族の融和こ親善に好都合であるやうであるが、他の一面から見れば眞正の諒解に不便であるやうにも思はれる、俗に『來て見れば其れ程でなし富士山』こも云ひ、又相近き者は兎角先方の短所をのみ認めて其長所を等閑にする傾むきがある、卑近の一例を引かんに、普通の日本人の眼に歐米人が如何に映ずるであらうかを考へてみるこ直ぐわかる、普通の日本人の目には、西洋人はいづれも同じく西洋人である、英國人であるか、米國人であるか獨逸人であるかの區別すらつかぬ、背が低ければ佛國人か伊太利人であらう位の見當であらうこ思はれる、婦人を見ても其年齡は愚か、場合によれば其美醜の辨別すらむつかしい、男子を見ても其職業或は教育の有無さへ見當がつかぬ、無學なる西洋人でも、西洋人こさへ云へば偉さうに思はれる、極端に云へば一般の日本人の目には西洋人は駱駝こ同樣であつて、其産地年齡さへ不明であるのである、何も彼も解らないから、固より其缺點さへも解らう筈はない、ただ何こなく先進國の人民で有こ云ふ單なる理由の下に、敬して遠ざけて置く事になる、之に反して境を隣せる同文同種の兩民族間にありては斯の如く簡單に事が運ばない、其内面的の諒解は勿論出來ぬにしても、皮相的の觀察はある程度迄は容易に出來る、場合によりては相互に勝手な色彩の眼鏡を掛けて勝手な觀察をする事もある、餘りに先方の弱點が見へ過ぐる爲に、相互に輕侮の念も起きてくる、これでは到底兩民族間の融和は勿論、眞正の諒解が出來やう筈がない、諒解が出來なければ全く何も解らない方が融和に便利である、苟くも諒解が出來るこしたら徹頭徹尾、眞正に諒解が出來ないこ融和が實現される筈はない、半分の諒解！これが一番危險である、西諺にも、『誤るは人間の常』こある、歐米人こて偉いものではない、歐米人こ東洋人こは物質上の文明の相違は別こして、本來孰が優秀の民族であるか、其精神的方面の教養は如何こ、公平無私に考へてみやうなら、吾等東洋人は必ずしもさう悲觀したものではあるまいこ思ふ、日鮮兩民族は相互に諒解せんこ努力すべきこ同時に吾等東洋人本來の面目をも考察する必要があらう

隣家の喧嘩は止んだが、雨は未だ盛に降つて居る、

三日…曇、終日氣分がわるい、

四日…今日は天氣が好いが、昨日からの不快が全く去らぬ、大正四年の春、神經衰弱に罹つて今日に至迄足掛け七年になるが、はかばかしく快方に向はない、八ヶ月の病院生活も、五ヶ所の親切なる診療も、案外効果が無かつた、今は唯時の經過こ自然の成行きに一任して居るのみである丁度烈風に煽らるゝ大火の前に、消防夫等が手を拱して火勢の進行を見るが如くに、ヒルティ著の『神經衰弱に就て』の中に左の如き文句がある

かやうな神經過敏は强迫觀念こ結合して大規模に屢全國民及時代を支配し、人々が『時代精神』若くは『世紀の努力ある觀念』など名け崇れて居るものを成すのである云々

してみるこ、神經衰弱は個人が罹るばかりでなく、一國民場合によりては全世界の人民が罹る事があるこみへる、歐洲大戰の爲めに疲勞困憊せる全世界の人々が、一時、同盟罷業こか怠業こか甚だしきは爆彈投擲こか、其他あらゆる狂暴の行爲を演じ今尚動搖せる思想の餘波が砕けて、發作的に非常識の惡劣言行が繰かへさるゝのも、畢竟全世界が神經衰弱に罹つて居るのかも知れぬ、神經衰弱患者には常に一定の見解を缺いて居る、昨是今非、今是昨非、唯他人が謂ふ儘を信じ他人が云ふ儘に踊る、狂人奔れば不狂人も奔る神經衰弱患者に至つては狂人の奔らざるに自ら狂人の如く奔らんこするのである、英國の石炭罷工を見よ、米國の排日行動を見よ、不逞鮮人の騷動を見よ、平靜なる者には談笑の間に決すべき問題も彼等には穩便に事を處分すべき餘裕がない、日本内地でも一時勞働者の同盟罷業が流行したが、昨今漸く鎭火の模樣である、逆上して居る耳には物の道理は入り難い、落ち著きかけた分別の胸に理非正邪の判斷を促して、今後の鑑戒こなすは今である、自分が嘗つて某新聞紙に公にした一文中の一節を再び爰に繰かへすも全く無益ではなからう、

雷同附和は空虚なる頭腦の無意識的發躍である、凡ての食物が咀嚼を要するが如く、凡ての思想も又理智の咀嚼を要す、思想の鵜呑みは思想の消化器系統に疾患を生じ思想の咀嚼は思想の健全分子を頭腦の血肉こし、其不健全分子を外に排泄せしむ、思想を咀嚼するは理智の働である、理智の働は取りも直さず各自の見識である、少くこも理智の働の基礎の上に各自の見識は成立する、見識なき人物は盲從する時毒藥をも受け入れる反抗する時牛乳をも受けつけぬ、賛否孰れを探るも理智を滅却して感情の奔るに任せる、其結果の危險なるは謂ふ迄もない、個人こして個人的見識の必要なる如く、國民こして國民的見識の必要なるは是れが爲である、日本は皇室本位の立憲君主國である、歴史の思想上の皇室本位主義は、長き長へに生命を有すべき健全優秀なる思想こして保證されたる日本の國是である、日本は益々此國是を確守し千變萬化朝夕を測らざる環境に超越して一切萬事に處する大見識を養成して置かねばならぬ、日本の國是にして確乎不動の安定を保つ時、外來一切の思想は日本の文化を飾る錦上の花こなる、富嶽の山元不動、白雲自去來、白雲の去來は富嶽に一段の美觀を添ふのである、春風秋雨は自然の景物に欠くべからざる彩色である、日本の國是はデモクラシーや社會主義の爲に動搖すべき程薄弱なるものではないが、此等思想の衝動を受けて日本の國是に動搖を來すべき事を憂ふるは、國民的見識の自覺こ自信こを欠ける對外怯者の杞憂である、吾輩は寧ろ進んで外來の思想を日本の國是を飾る白雲の去來春風秋雨こなしたきものである、（下略）

一定の見識なきものは事に當りて迷ふ、神經衰弱患者は一定の見識なき者の中にありて、最も一定の見識なき者である、甲こ乙この氣合が合はねば、默識心通は實現せぬ、總督府が一視同仁の方針を執つても、鮮人諸君が其呼吸を呑込まねば、萬事が鷸の嘴をこひ違ふ、血は水よりも濃い、日鮮兩民族は、たこへ狂せざるも神經過敏の發作こして奔る非常識者の後を追ひて狂奔してはならぬのである、冬の日は短く、もはや正午である、

屑籠の籠

別府より（二）

拜啓、別府に於ける越年客は、不景氣の爲に、前年に比べるご幾分寂しさを感ずるこいふここではあるが、それでも舊臘廿九日の現在數千八百三十八人が、新年に入りては急に四千二百餘人に増して居る。大晦日から今日にかけて、松の内、七日間をば心長閑に溫泉に浸つて、正月氣分を味はんこする人々の群は、列車の停車場に着く毎に、汽船の港に入る毎に、陸續こして押し掛け賑し合ひ、名高い良い旅館は、いづれも大入り滿員である。古來より此の溫泉は、別府八湯こ唱へて、八ッの溫泉場が別府を中心こして、數平方里の間に點在して居るから、溫泉めぐりの興味が多い。それに其の附近には、地獄こ呼んで、鑛泉の地上に沸き出でて、奇觀を呈するものが七ッ八ッもある。所謂『地獄めぐり』をするここが與味深き浴客の行事の一つで、亦別府溫泉の一名物である。余も正月早々、此の『地獄めぐり』を試みた其の中で珍しかッたのは海地獄こ血の池地獄こである。海地獄は、別府より一里半餘り鐵輪溫泉の近所に在る。面積二反歩餘りの滿洌な大池で、熱湯の色は、恰も碧玉を融解したやうに透明ッて、十數尺の底まで見ゐる。沸々こ渦卷き上る湯煙は、如何にも物凄く、遠方より見るここが出來る。最高二百十度の熱で、沸騰して居るから、鷄卵を此の湯熱に浸せば、六分間で茹られるさうだ、其處の休憩所では、其の茹玉子を賣つて居る。又此處では即席の『地獄染』ご稱へて、遊覽客に白の絹地ハンカチーフを賣り、客自らに筆を執らせて書畫を描かしめ直に染め上げて記念品こして持へ歸らしめて居る。余の暫時休憩せる間にも、遊覽客は自動車にて三四組も來て居た。そして定價一圓のハンカチーフが、瞬く間に二三ダースも賣れた。觀覽料は一人十錢で、記念繪葉書一枚を呉れる。所謂『地獄の沙汰も金次第』だご思つた。それから又、血の池地獄は、別府の北西一里二十五町の所に在る。此の地獄は、海地獄に亞ける大池にて、廣さ約三百坪、池中の泥土が、水酸化鐵を含んで居るので、其の熱湯が朱紅色を帶びて、ちやうご鮮血のやうである。それから湧く紅い熱湯が、音もなく流れて上澄んで居る。紅い池の中から、白い湯氣が濛々こして高く昇つて居るのは、頗る奇觀である。此處にも遊覽客の休憩所があつて、五分間玉子を賣でたり、赤い泥を染料こして地獄染をしたり、繪端書を賣れるなご、海地獄こ同じである。餘は後便に讓る。敬具

一月三日別府の宿舍に於て

加藤兒孫史　眼訂生

美味なる虫下し最良藥

定價十錢●廿錢●五十錢●壹圓

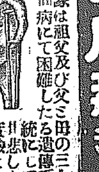
岩崎大海堂セメンシ菓子

美味なる ▼虫下し最良藥 登錄さんとにねくわー 商標 开珊篤尼涅菓子 本舖 大阪天王寺烏居地角 岩崎大海堂 ▲内外藥店にあり

主治效能　蛔虫諸症　疳蟲々熱　夜泣の蟲。乳あまし　蟲腹痛み。疝熱の蟲　蟲胸惡く。勞熱の蟲　蟲ぜき。驚風の蟲

近來粗惡なる僞物續出す鳥居の商標こ岩崎大海堂に御注意を乞ふ

中風病（ちうき）



余が家は祖父及び父こ母の三人こも同病にて困難したる遺傳系統こして悲しき實驗より得たる良藥を新聞の方に 名記入ハガキにて照會の方には詳報し一千人を限り名士題字の旅養書無代進呈す

▲明石市中町九　加古忠兵衛

事務服特價提供

カーキ綾地　三圓九十錢
黑綾織地　四圓廿錢
特品朱子地　五圓七十錢

●各種五十枚限り御注文ハ見計ヒ送付ス不向ノ節ハ取換又ハ御返金
見本付目錄郵呈ス

京城本町壹丁目五一　高野製作所　振替京城四六六〇

資本金六百萬圓（明治三十八年設立）

當銀行ハ預金、貸金、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

株式會社　漢城銀行

京城府南大門通一丁目十四番地

長　男爵　李　專務取締役　韓　支配人　韓

電話長六〇一番　九相用　振替口座京城二〇〇一五番

支店所在地　水原、平壤、大田、開城、南大門、釜山
出張所所在地　東京、東大門、大邱、東萊、平壤大和町、西大門

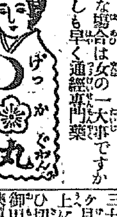
京城府明治町二丁目（本江戸川より入る横町）電話三七八番

内科　小兒科　入院隨意　チアテルミー科

中島醫院　（普通病室　隔離病室）　院主　中島貞信

月やく無きに御心配の方へ

女の身に月やくのない程、心配な事はありません。月やくのない原因に二つあります、一つは婦人病、其一つは懷姙の爲めで、一つは婦人病其他の病氣の爲めであります。頭痛はする食事は進まず獨りで小さい胸を痛め日夜、姙娠かしらん？と親に打明けて相談も出來ず其内に心配はます〱ひどくなる、こんな場合は女の一大事ですから少しも早く通經專門藥を服藥なさるがよい。身體に少しも害なく藥効子宮に作用して速に効能あらはれ苦しむ事なく流經して今までの心配は夢の樣す、御安心が得られます。論より證據此藥を飲んだ人は三日目に見たこか五日目に見たこか實驗上大喜びなされます世の中に何々散何々湯など皆ふ藥もあるがこれは色々の病氣に利く樣に色々の藥を少しづゝ交ぜ合せたもので月經不順にもきくこ書いてあつても其藥力は非常に弱いものであります然るに此の月花丸は草根木皮を刻み込んだ古式の振出藥ではなく日本藥局方の特効洋藥を最新式の器械にて最も有効なる製劑にしたもので他に類なき通經專門藥ですから他の病氣にはきかぬが、月やくを見る効力だけは他の藥の幾十倍です、ごうぞ此の點を御婦人達によく御記憶を御願ひいたします藥價は送料共三圓三十錢こ五圓三十錢こありますが、もう三四ケ月も月やくがなくて御心配の方は最初から五圓三十錢の分を御用ひ下さい藥價送料を郵便爲替か振替貯金にて御送り下されば早速取急ぎ御送藥いたしまして一日も早く御安心の出來る樣に致します月やく無きに御心配の方はくよ〱獨りで心配して居らず一日も早く御決心の上効力強き本藥にて其の目的を遂し愉快なる生活を得られよ。餘り後れるこ藥のき・め惡くなり、一生取返しが付かなくなりますから茲が女の幸不幸の分れ道です



東京市神田區表神保町一〇　神命堂藥房　電話神田三三〇〇番　振替東京五五二二八番

注意　小包は密封の上送ります秘密を望まれる方には別名で御送りいたします、尚藥は非常によくききますが身體には少しも害がありません

第參回決算報告（自大正九年六月至大正九年十一月）

貸借對照表

資産之部

科目	金額
未拂込資本金	一八七、五〇〇・〇〇〇
土地建物	三〇、〇〇〇・〇〇〇
機械什器及設備費	一七、七三五・三一〇
營業權	一〇、〇〇〇・〇〇〇
在庫品	一〇、五八四・六八〇
繰越保險料及借地料	四〇二・〇四〇
賣掛金	九、七八九・一一〇
受取手形	六、三三一・〇〇〇
未收債權	一二、三七三・三〇〇
假拂金	三〇九・二八五
預金及貯金	一、〇二四・九五〇
現金在高	一四一・五九五
當期損失金	四、八〇五・二一〇
合計	二九〇、九九六・四八〇

負債之部

科目	金額
資本金	二五〇、〇〇〇・〇〇〇
諸積立金	三、〇三五・二〇〇
掛買金	三、二九四・二三〇
支拂手形	二八、一九九・一六〇
假受金	一、〇六八・〇五〇
前期繰越金	五、四三九・八四〇
合計	二九〇、九九六・四八〇

右之通リニ候也

大正九年十二月

富士製菓株式會社

御召工合良き靴　種々

登錄商標　東京芝區櫻田伏見町　內田靴鞄商店　電話新一五二一・振東一六二一番

定價表進呈郵券二錢要す

京日案内

▲女中入用　高給にて雇入度し　京城南山町三丁目二九　電話三八五番　大林

●ほねつぎ　うちみ　くじき　一切の治療御依賴に應ず　明治町　柔術道場

●X光線チアテルミー　京城　膀胱諸病胃腸病肋膜炎睾丸炎淋病ヨコネルイレキ美顔術　日之出學校裏高井醫院分室

内鮮人男女十六才より十九歳までの齒科研究生數名募集　姓名在社

BIOFERMIN

整腸消化劑　ビオフェルミン

本邦嚆矢の糖化菌含有乳酸菌製劑!!

整腸消化劑ビオフエルミンは有力乳酸菌に獨特の糖化菌を經驗に富める技術者に依り緻密なる細菌學的作業の下に配合したるものにして、實に腸内澱粉消化作用を兼ぬるに有力なる腸内殺菌作用並に整腸作用を有するものなり、故に本劑は代表的乳酸菌製劑こして左記疾患に對し盛んに應用せらる

（適應症）腸諸疾患、小兒腸疾患、綠便、腸消化不良、皺腸、慢性腎臟炎、糖尿病、中毒性皮膚病、神經衰弱、早老

定價　三十瓦入　金九拾錢　百五十瓦入　金參圓九拾錢
　　　五十錠入　金七拾五錢　百五十錠入　金貳圓拾錢

發賣元　大阪市東區道修町　武田長兵衛商店　電話 [illegible]

（文獻說明書郵呈）

（108）

池上秀畝氏門下の書初め式

畫伯池上秀畝氏門下の新年書初め式は八日午前十時より秀畝氏邸で開催しました=寫眞は式場にて秀畝氏夫人の書初め=

東京青森間の飛行に 二萬圓の懸賞
活氣立った飛行協會 玄海横斷飛行は秋

飛行協會では、今年は來る三月中旬洲崎埋立地の飛行大會を手始めに六月は東京青森間の遠距離飛行秋は朝鮮海峽横斷等三回の大競技で六月の

遠距離飛行 には一等賞二萬圓を附する由、同協會では曰く『今年は航空路の開拓、飛行智識の普及宣傳の爲に大に努むる積りであるが分けても遠距離飛行に力を入るる積りで氣流其他地理關係に就て目下大に研究中である此の企てには民間の參加を勸誘する事が急務なので問合の書狀を過日發送しましたから回答の集まった上で時期其他賞金をも定め

航空局とも 提携して十二分の効果を擧げたいと思ひます』更に民間飛行家は三月中行はれる第二回飛行競技會其他遠距離飛行參加の爲めに白戸、高橋、千葉の島田氏を始め一同は是れが練習飛行を開始した(東京)

光韓團の巨魁
續々檢擧さる

客臘十二月二十七日の捕縛平安南道第三部及平壤大同兩署の官隊が共大擧して某方面に於ける不逞鮮人の逮捕に向ひたることは當時報道せるところなるが右につき其後に於ける狀況を仄聞するに右不逞團は結氷期を利用して支那滿洲地方より窃に鮮地に侵入し平安南北兩道内に於て事を爲さんと企畫したるものにして右團體の首魁者は李時說と稱し支那寛甸縣に本部を置き秘密結社光韓團なるものを組織して頻りに獨立運動を爲し居れるものなる由にして同團員李明燦、朴正濟外四名は已に本道江西郡に入り込み十數名の不逞鮮人結束して事を擧げんと計畫中今回警察隊の襲擊に會ひ悉く擧せらるゝに至りたるものにして右檢擧せられたる不逞團中には過般平壤北金融組合小使ひ朴文學と共謀し警官を狙擊したるものも含まれ居れりと目下其筋にては嚴密取調べ中(平壤)

旅行中のクレマンソー翁
日本に立寄るかも知れぬ

佛國前首相クレマンソー氏は昨年夏頃マルセーユを出帆して初秋の頃より冬に掛け佛領印度支那を視察し目下爪哇島の踏査に最も興味を持つてゐるさうである同島のヂョクジャ王訪問の際偶然にも王もク氏も同じ八十歲と云ふ老齡だつたので兩人共悦に入つたヂョクジャ王には八十三人と云ふ子供があると聞いた時有繋のク氏も啞然たるものが有つたと云ふ、因に横濱商業會議所の情報に依ればク氏は歸途東洋、南米を經由して歸國するので日本へは立寄らぬと言明してゐたが旅程を案じ或は立寄る事となるかも知れぬと

横濱に失業風
滯貨が減つた 沖人夫迷ふ

八日發表されたる横濱稅關構内の滯貨は昨年四五月頃約卅萬噸と稱せられ同稅關開設以來の記錄を作りしも世界的不景氣の餘波を受け僅八ヶ月後の本年一月初旬には急轉直下的に四萬三千五百廿一噸に激減し内外貿易商船會社を始め稅關當局も意外な此現象に一驚を喫したり其結果横濱埠頭中四千餘名の沖人夫は年末中には貨物の整理或は其他の雜用にて辛くも生計を維持し來りたるが新年に入り一部の者を除く大半は殆ど失職の慘狀を呈し中には糊口に窮する者もあり或は一家を擧て故郷に引揚或は鑛山炭坑等に職を求めて去者等續出し失業問題は横濱港口を中心にして漸次各方面に波及せんとしつゝあり(横濱)

市街の公園化
大京城を建設するには 斯うした計畫を樹てよ

京城府の大正十一年度に於ける豫算編成は未だ具體的に何等の發表を見るに至らず、府尹歸城早々十日午後より各課に分けて再び審議を重ねてゐるが近く各課共に大評定を行ふ筈と聞く右豫算の編成難澁の折柄某名士は府の土木事業に關し都市計畫の一端たる市街美に就て語る

『吾人の日常生活上吾人の生活すべき土著都市に於ける

市街美と 云ふものがなかつたならば文明の度を高めるに作れて吾人の生活上の環境の殺風景さに堪へられぬであらう、少くも文明人には市街の公園化と云ふ事が最も必要であると既に歐米其他の國々に於て

屢々實例 を觀取し得る處のもので市街美と云ふことは一面その都市に住する市民の健康に大きな關係を有すると共にそこに生ずる環境はその都市の思想を證明する場合もある此の意味に於て京城府が朝鮮全道に亘る一大主要都市であり大京城の建設を行はんとすれば先づ都市計畫に基く市街美を

完全に且 つ迅速に建設しなければならぬ、十年の計畫のもとに實施されつゝある京城府の市區改正に伴ひそこに現れて來る各道路の岐點となつて、本町、長谷川町等に到る京城府廳前並に京城日報社前の大廣場等には街路として實に不生産的のもので是等には勘くも

小公園の 設計を行ふべきもので、さすれば道路修理や塵芥の飛散を防止し撒水事業に對しても非常の手をはぶき得るこゝ、なる其上市民の生存欲の熾烈な現代に於て日常その疲勞をさへ慰する場合もある。若し理想的にそれ等の實を擧げるならば各一等道路を初めとして車道にフラワーラインを作る爲に

草物類の 植付けを行つて繁殖を迅速にしたならば前述の欠陷は大いに補足されるのみならず市街美は大きな幸福を齎すであらう、尚新しい市區改正に依つて現在のパコタ公園附近に大廣場が出來る筈であるが之れ等には其筋に當つた人々の聰明な研究に依つて近き將來に於て大京城の建設と共に市街美の實を完全に施設して欲しいものである』

家庭と婦人

絶對的禁酒は却つて有害だ
幼年の禁酒と青年の節酒丈は必要である
佐伯博士談

禁酒は絶對に反對だ節酒ご酒の害毒を除く事には贊成である未成年者の禁酒には主唱者の一人である

禁酒反對 の理由は大酒は勿論有害であるが少酌は決して禁酒論者の主張するが如き過大害毒を及ぼすものでは無いからである殊に日本酒に就ては少しも研究も爲さず外國のものを其儘我國に移し入れることは間違ひである日本酒の性質に就て善惡の兩方から調査研究して國民に徹底的に酒に就て理解せしめなければならぬ現に米國の如き禁酒國でも

百分の二 のアルコール含有飲料を公許して居るではないか曾てベルツ博士が日本人はアルコール中毒に罹つて居らぬのは特有の日本酒があるからであると云ひ精神病學者は國民が禁酒したなら精神病者は增加すると唱道して居る位である禁酒論者の言に從へば少量の酒害よりも以上に害を及ぼして居る自家中毒即ち美食藥食で胃腸を害し

神經衰弱 に罹つて居る國民は多數あるがそれに向つて飯を食てはならぬ肉食を廢せよと云へぬと同樣に酒の絶對禁止は不可能である隨つて私は幼年者の禁酒と青年者の節酒を稱へるのである(東京)

強くなれ
京城 愛子

あはたゞしい大晦日の夜も更けてみ寺の鐘が百八つ、餘韻長くひゞき渡ると共に世は大正十年となりました。若き日の逝くは淋しい事ながら新春の氣分はやつぱり晴れやかに嬉しいものでございます

過ぎし年の貧しい歩みの跡すら忘れ果て、ひたすら前途の輝きに望みをかけ、はてしも知れぬ未來にむかつてまつしぐらに走り度い樣な心地がします

此の新年は私にとりましては渡鮮後第一の、しかもホームに入つて最初のお正月なのです社會に對して拙く私の感じは未知の世界にはじめて眼を開いたもの、如くすべてが珍しくそして恐ろしいのです。

乙女の時代には單純らしく見て居た社會が實際には何といふ複雜さでせう？世間知らずの身はわづらはしい樣に出來事にぶつかつて、あまりに弱い自分がつくづくかへりみられます

強くなれ!!強くなれ!!心の中に叫びつゝも熱い涙は頰を流れます、ほんとに／＼強くならなくては。

心の何處かにひそむ浮薄さはともすれば新しい事のみ興がります。善か惡か區別さへなし得ずして新思想めいた言動に共鳴するおろかしさ、其上及びもつかぬ空想のみ胸に畫いて……、如何に外觀は立派でも内容のさゝばしい樓閣は倒れ易いさか、小さくとも充實した家を築かねばなりません、おゝ、さうです、夢に似たあこがれは直ちにすてませう、そうしてしつかりした實現の出來得る理想にむかつて進みませう、

社會に對しても家庭に對しても望みはかぎりなくあります。しかし私は數多の望みをはたす前に先づ自己から改造し修養せねばなりません、正しい道を進る、眞の人になつてこそ、社會の爲人々の爲に活動し得るんじやないでせうか？

放蕩息子 泥棒を働く
遂に檢事局へ

山口縣阿武郡萩町當時旭町三の一三三方雜金太郎方倉庫彦松(二一)は窃盜罪で本町署に檢擧されての母は旭町三丁目で一萬以上の產を有し何不自由なく暮してゐるからデッとして居れば一家の若旦那で通る身ながら一度染み込んだ遊蕩の味忘れがたく昨年八月頃から紅家春名に現を拔かし金につまつた末相鍵二十餘個を拵らへ本町大阪屋號で三度現金五百圓小切手三枚内藤及び明治屋丁字屋浪華ずし等で數千圓を窃取何れも春名に入れ揚げて居た彼は又紅家に通ふ事なく五木庵を本據として春名との關係を繼けてゐたが大阪屋號盜難以來本町署岸川細南刑事は不良少年か遊蕩兒かと目星を付けて偵察中十二月廿八日春名を五木庵に引き入れたるを突き止めて同庭に踏み込み二階に同衾中を取押さへ取調べの結果前記罪狀が判明した

オトギバナシ

鷄の池 (下)
竹貫佳水

長者の邸は大騷ぎ。足袋跣になつた長者を眞つ先に、家中の者が血眼になつて金の雞の後を追ひかけました。

金の雞は長者の邸の裏手の方へ逃げました。裏手へは可なり大きな池がありました、その池の傍まで金の雞が逃げた時、向ふから一匹の犬が駈けて來ました。そして金の雞を見ると急いで飛びかゝらうとしましたので、金の雞は池の中へ飛びこんで、そのまゝ沈んでしまひました。

これを見た長者は網で金の雞を引上げようとしましたが、とう／＼金の雞は網で引上げることは出來ませんでした。

『しまつた、大切の金の雞をなくしてしまつた』と長者は悉り落膽してそれから十日ばかりは溜息ばかり吐いてゐました。大名は自分の過失から長者の大切な金の雞をなくしたのを氣の毒がつて、長者に田千町、畠千町を與へました。長者は池の中島へ祠を建て、金雞神社と名をつけ、それからお正月の元日にお祭りをすることゝなりました。するとそのお祭りの時池の中に金の雞が浮んで出て、

『コッケコッコー』

と時を作りました。

その池は、雞の池と言つて、今も昔の通り、田にも畠にも變らないで殘つてゐます。そして金の盃だけは長者の子孫が大切に秘藏してゐるさうです。

南大門小學校第六學年 早田春子

新年劈頭の快擧
本社主催 歌留多大會
會場は京城倶樂部 期日は來る十六日

來れ、全鮮の猛者！

本社主催全鮮歌留多大會は本社の新調優勝旗第一回の爭奪戰だけに斯界の氣分は舊臘計畫發表以來高潮し京城仁川は云ふに及ばず地方の斯界も猛練習を開始せるが新春に入るや更に志氣緊張し猛者連の意氣軒昂たゞ目前の日の晴れの舞臺を鶴首して枚を銜くんでゐるらしかつたが京城美矢飛會は九日新年歌留多大會を開催して堂々戰陣を張つた昨春は安東より遠征の老將の手に覇權を握られてゐるだけに京仁の斯界は恐ろしいまでに白熱し刻々迫る戰機は素晴らしい激戰を思はせる。愈本社主催の優勝旗爭奪全鮮爭霸の決戰は既報の通り

來る十六日午前九時より府内南米倉町京城倶樂部で開催に決定した大會に關しては過般幹事會で協定した會則其他は左の通りである。

一、出場選手は男女隨意當日午前九時までに會場に到著し受付に屆出づべし

一、競技規定は前年通り規定以外は幹事に於いて處理す

一、會費 金九十錢

但晝食を準備す

一、優勝第一等には本社優勝旗を授與し以下十等迄左の通り授賞す

一等 金牌 副賞
二等 銀牌 副賞
三等 同 上
四五六等 銅牌 副賞
七八九十等 副賞

一、觀覽者は歡迎す但し幹事の指示を背んぜず競技の妨害等を爲すものは絶對に謝絶し退場を命ず

大正十年度の斯界の形勢は選手の異動もあり遂に豫斷すべからざるものあるを以て戰を演ずるや必せりであらう果して榮ひある本社優勝旗が誰の手に握らるゝか覇權を握るは何れの會か蓋し新春劈頭における興味ある試合であらう

美術獎勵會成る
一般の入會歡迎

目下京城に於て美術に關する娯樂機關なきを惜み阿川、鮎貝、淵上の諸氏並に市内骨董商佐々木、伊藤、渡部、給川の諸氏協議の末東洋獨特の美術を研究し藝術趣味の向上普及に資するを目的とする美術獎勵會を組織した、そして同會は毎月第二の土曜日曜の兩日煎茶席抹茶席書畫展覽席及骨董盆栽の陳列を公開して一般の觀覽に供する事となつてゐる

修養團向上會

十一日(火)は修養團京城支部の向上日につき同支部は午後七時より府内櫻井小學校内に於て向上會を開催し本年最初の正義の叫びを擧げ兼ねて本年度に於ける活動計畫等御懇談すと因に目下團員總數五二、〇〇〇人にして九年度新入團員三一、七三〇人なりと

自動車電柱に衝突
運轉手負傷

十日午後十一時頃總督府所屬自動車八二號運轉手磯良作(二三)が澤柳博士を朝鮮ホテルに送つての歸途黄金町二の四七高等寫眞館前電柱に衝突電柱は傾き自動車は大破壞した運轉手は左耳上に長さ一寸餘り深さ六分の裂傷を負ふたので直に附近の醫師宇野病院に舁ぎ込み目下治療中

◎黑岩書記長三男の訃 黑岩書記長三男三郎(當六歲)豫て病氣の爲め田中丸病院へ入院加療中の處十一日午前三時死去十二日午後四時三十分東町護國寺に於て燒香式を行ふべしと

お寺と敎會

▲妙心寺(長沙洞) 十一日より十五日迄毎日午後六時半より十時迄例月の接心會を行ふ來會參拜を歡迎す

▲護國寺(旭町三) 十二日は宗祖御待夜に付午後七時より法要說敎十三日は婦人會例會を午後一時より同寺に開き新年會を兼ねて淨瑠璃等餘興數番あり了りて追見司監の講演あり一般の參會を歡迎すと

紹介

慶北醴山邑酒造會社の櫻正宗は品評會大賞出しは大好評裡に忽ち賣切の盛況を示せるが此大賞出品の抽籤を十日夜料亭花月で擧行本社員立會嚴正なる抽籤を了し別室に於いて營口、奉天等、浪鮮、各地よりの代表者廿名新年宴を張りたり

工關金連絡船
釜山發 朝七、五〇 夕八、三〇

十二日	朝、對馬丸	夕、新羅丸
十三日	朝、壹岐丸	夕、高麗丸
十四日	朝、對馬丸	夕、新羅丸
十五日	朝、壹岐丸	夕、高麗丸

借倒した上

第は反物行商たる慶北尚州郡莫山面[illegible]氏(二)車氏(三)の[illegible]寧ろ車氏姉妹を誘引し途中にて懷中の十八圓を渡しこれにて打殺さんとの相談をなした[illegible]惡し是と詫び入るを[illegible]みす

れたる姉の車氏は大田市街の巡査派出所に驅け込み右の次第を訴へ取調べの上[illegible]一月十日大田支廳の[illegible]

反過激思想宣傳の爲め

京城着上京東京驛ホテルに投宿思想上の大反對で私は貴族の位したと云ふので同氏を訪うた處地や百萬の財產を相續したが過[illegible]ズムが如何に人道を破壞し多く[illegible]

[illegible]日午後十時四十分頃市内南大門[illegible]

慶安太平記
第六十六席 小金井芦洲講演

仙『そこで庭前へ通して庭口を閉めて殿重に何處へも遁れ出づることの出來ないやうにして置いて以上四人で彼を斬つて棄てる、如何に向ふが腕前が出來るか知れませぬが、四人に一人でうしたつて是りやア敗れを取る氣遣ひはござりませぬ、鬪殺しにしてしまひませう、なア平岩 松崎 玄『言ふにや及ばぬ。幸ひ手前も近頃求めた新身の一刀、一度試して見たいと思つて居りました所 玄『オゝ然らばごうか然う言ふことに願ひたい、好いことを言つて吳れた、何分お頼み申す 彌『先生の御身の上に掛つたこと、如何にも承知いたしてござる』と茲に斯の如き相談が成立つて三人は立戾つた。翌日になると、充分に仕度をいたして千束仙太郎の所へ往かうといふので 玄『傳助々々 傳『先生お呼びでございますか 玄『ウム其方一寸支度を致して供を致せ 傳『畏まりましたが何方まで 玄『門人千束仙太郎方まで罷り越すのだから 傳『ハア左樣でございますか 玄『直ぐだぞ 傳『ヘエ 玄『だけれども其方往くには往くやうに充分覺悟をして往け 傳『ナ何でございますツて…… 玄『何にも持つて往つては不可ぬと言ふことよ 傳『可怪しなことを先生仰しやいますのね、覺悟して往けと仰しやいますのは何う言ふことで 仙『いやさ、千束の所へ往くのだから其積りで何にも持つて往くなと言ふのだ 傳『畏 まりましてございます唯今仕度をして參ります』と自分の部屋へ這入つた傳助、軈て仕度を直して出て來たのを見ると腰に大小を差して居る、これは外目の一件があつてから心配でないから豫て若狹屋に預けて置いた大小を取つて來たのだ 傳『へエ。先生の方のお仕度が宜しければ出掛けませう 玄『コレ／＼傳助何だ貴樣大小を差して……何處の國に仲間が大小を差して步く奴があるか 傳『不可ませんかな、不可なければ大小を袋に入れて擔いで參ります、 玄『袋に入れる何だと言つて貴樣そんなものを持つて往くんだ 傳『だつて、先生の被仰ることが可怪しうございます 玄『何にが可怪しい 傳『千束の所へ行くのだから、供をしろならしろで好うございます、覺悟して行けの、何にも持つて行つちや不可ないのと、だから持つて行かずには居られませぬ 玄『何で持つて行くのだ 傳『だつて一寸したことですが、御庭前の松ケ枝を下せと被仰るから松の上へ上がつて私が木を切らうとして居る所へ、後へ廻つて飛道具で狙ひをお付けなさる位の旦那一寸だつて油斷はなりやしませぬ、聞くに落ちず語るに落ちるとか申まして、何にも持つて行くなだの覺悟をして行けのと被仰る以上は夫れだけの覺悟をして參らなければ成りませぬ、大小を袋に入れて持つて參ります、ア、近頃は危なくつて什樣がねエ、 玄『何が危ない馬鹿なことを言へ 傳『差て不可なければ木刀に取替へませう』と頓て眞鍮柄の木刀を差して大小を風呂敷へ包んでかついで出て來た 傳『是なら宜しうございませう』 鬼松口が云つたばかりに飛んだ事になつたと思ひましたが、是以上止めることは出來ませぬ 玄『ナー、高の知れたる傳助、向ふは人此方は四人、閉りをして斬らぬやうにさへして置けば差支へない』と思ふから 玄『夫れでは出掛けやう』とやがて千束仙太郎の屋敷へ來ると言ふと、最う松崎平岩の二人も來合せて最前から酒を飲んで待ち受けて居たんだ

かほみせふうけいがんろ

ロロロロロ日活の新劇團 今度東京日活撮影所では向島の新派俳優が設け新派劇の作興に努力することになつた女優では松井須磨子の死後の新劇座に入り森英治郎と共に九州中國を巡業して本郷座へ戻り昨年一月新歌劇團へ入り二月より日活へ入社した歌劇團中山歌子と藤下と舞臺協會にて昨年六月日活へ入つた酒井米子の二人、男優では昨年東京俳優と新文藝協會で來阪し法難劇にも出て其後日活に入れる森英治郎とこれも森と共に法難劇に出てゐた林幹とが任ぜられた、さうしてこの新劇團は第三部と號し森が部長であるさうだ

將棋新手合(五)
於遊樂倶樂部佐田時作氏宅

角落 六段▲溝口木光治(京城)

番 三段△佐田竟作(遊勝)

(圖は前號指了迄の局面)

△持駒 佐田氏 桂桂步步

△一一角ナル▲九七飛ナル△六六銀▲七三玉△五五步▲八四玉△五四步▲同銀△四六桂▲七六金△五四桂▲同金△五八飛▲五五步△同銀▲六七金△五六飛▲五五金△五九飛▲五八步△二九飛▲八五玉△四四馬▲七三銀△九九步▲同成香△五四馬▲七六金(以下次號)

一月十三日
(舊暦十二月五日) ▲木曜日 ▲丙子 ▲四綠 ▲暗劍 辰巳 ▲佛滅 宿▲胃

▼四綠▲騷々しく心に閑なき日新計畫又は遠くへの旅行等見合す

▼五黃▲根負の日新取引面白からず目上の意見に從うて有利

▼六白▲概ね平穩なるも動もすれば間違ひ生じ易し午前凶午後吉

▼七赤▲喜憂共に相半ばする日、靜かに辛抱せざれば大損を招く

▼八白▲中途で拍子抜けする日總て控目にさへすれば利益あり

▼九紫▲上運萬事意の如く運ぶ移轉開業求職金談結婚其他大吉

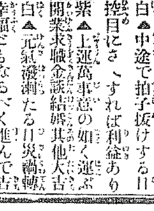
▼一白▲元氣潑剌たる日災禍轉じて幸福ともなるべく進んで吉

▼二黑▲訪問金談約束事不調に終り易く短氣にして友を失ふ日

▼三碧▲四隣の同情に依り何事も極めて順よく運ぶ日待人來る

かぜの藥は山ほどあれど なかにも ハカリの ヘブリン丸

かぜとねつには ハカリにかけた樣 責任分量で立派にきく



ハカリ印 登錄商標

大阪市北濱 合資會社 參天堂藥房 電話本局 一二〇四 二〇五

姉妹を攫ふ
鮮人の惡漢商人

慶尚北道聞慶郡戸西面[illegible]岩里當時大田郡外南面新垈里趙國車方に居住金三俊（二二）金文俊（二二）の兄妹より昨年十二月三日絹地反物價格金十一圓を後拂ひの約束にて買ひ受け之れを直に八圓にて他に賣却したるが一方車氏姉妹は其後右代金請求の厳しきよ[illegible]を以て之れを[illegible]川街道たる鐵道附近に打ち蹴りたる三俊は豫て用意したるチゲの眭木を以て妹の車氏を亂打したるより金が欲しきなればこ[illegible]引續き亂打し一方此の有樣を見たる姉の車氏が逃げ出したるを弟文俊が引倒し亂打し初めたるも人聲のするより其儘逃走したるより姉妹共に漸く危地を免[illegible]訴へ大田警察署にては直に非常線を張り犯人の搜査をなし浜川郡東面地石里にて文俊を引き捕へ三俊は金化春方にて附近のものと賭博し居たる處を取押へ[illegible]の生命には別條なしと（大田）

生活に鞭たれ乍ら社會のドン底に藻掻く人々
失業者や生活不能者が京城だけで約二千五百人

舊臘中京城府廳の調査した處に據る京城府内の失業者狀況と府内各警察に於て調査した浮浪者並びに乞食の狀況を訊して見ると此の事實、而も人生の裡面に於る人間の慘めな姿がマザ／＼と發見されるのである。先づ去年財界の動搖が人間生活の將來に大きな不安を投げかけた當時それは六月より九月迄の間に於ける京城府内の染織業、綜綿業、皮革業、燃業、金工業、製材業、水産業、精穀業、煙草製造業、精練業、鑛業、其他の諸工業が一齊に事業縮小、經費節減から職工を解雇すること〻なり右の諸業者中職工解雇追放等の手段を講じた工場が百五十四工場でその中から生れた失業者は二千二百七十二名と云ふ數を現はしパンの爲めに苦まれつ〻あるものが斯も多數に京城府内に彷徨してゐるが此の他給與減額を斷行した工場が百十九工場で現在では、諸業者中工場を完全に活動させてゐるものが五百三工場で幸ひ働いてゐる職工がそれでも一萬三千六百八十七人はゐると云ふことだ

浮浪者と乞食
が約二百人居る

斯くして落ち延びる人間の生命が奈邊に繫がれる者か？波浪の中から藻掻いて漸くセイプトの彼岸に達すれば幸ひであるも若しその渦中に卷き込まれて靈肉共に生活不能者となつた場合は當然其筋の眼に止まる浮浪者、乞食と云ふ代名詞を附せられて最う浮かぶ瀬もない人生のドン底に落ちて終ふ今茲に市內各警察署の調査に依る浮浪者、乞食數を見ると左の通りな數字が現れて來る

▲本町警察署管内 ▲浮浪者（男）二十七人▲乞食十三以才上男二十六人▲十三才以下男三十四名
▲鍾路署管内 ▲浮浪者男十一人▲乞食十三才以上男二十六人▲十三才以下男十人
▲龍山警察署管内 ▲浮浪者男二人▲乞食十三歳以上男六人▲十三歳以下なし
▲東大門警察署管内 ▲浮浪者男五人▲乞食十三歳以上男二人女二人▲十三歳以下男五人
▲西大門警察署管内 ▲浮浪者男十人▲乞食十三歳以上男十一人▲十三歳以下男一人

等の事實に依つて見ると斯うした生活不能者が總數で百七十八人と云ふ譯であるが彼等は昨今厳寒の路頭にヂリ／＼と生を縮められて居るのである

御歌と預選歌

宮中歌御會始めに御詠進相成りたる李王世子妃方子女王殿下の御歌左の如し（東京電報）

方子女王御歌

御社の白木の鳥居ほの見えてまた夜をのこす杉のむらたち

預選歌（つゞき）

德島縣平民　松田清市
みやしろにちこせつかふるかみすぎの こずゑよりこそよはあけにけれ

御歌所錄事　藤原勝平
さふはこのはおきさこへてかみそのの このまにほふあかつきのくも

愛知縣平民　大田貞
にひのみやのみかこのあくをまつほこに みやこのそらぞしらみそめたる

石川縣士族　厚見正秀
羽咋のうみよせくるなみのひかりより しらみゆくらし氣多の神南備

廣島縣平民　淺田雄三
さくすゞのいすゞのかはのおこすみて あかつきふかしいせのかみやま

大阪府平民　高橋文七
あはぢしまほのかにみねてあかつきの なみのねきよしわたつみのみや

預選歌の一等は
兵器廠の職工

本年歌御會始に於て御題第一の選に預かりたる福岡縣小倉市枝光大字板櫃村三二七中尾林藏氏は大阪砲兵工廠小倉兵器製造所の職工なるが當選の報を齎して同人を右工場に訪へば職工服を纏ひたる同人は感激に打ち振ひつ〻語る

私の樣なもの〻歌が選に入つたのは夢の樣です私は歌は空想を排し實感を詠まんと試みて居たので今度の歌は和布刈神社の實感を詠んだものです私は兵器製造所が門司に在る頃から凡ち十年間勤續し今日では仕上工の班長を仰付けられて居りますが門司に十年程暮して居た關係上和布刈神社の景は目の奥にコビリ付いて居ます

因に同人は三十五歳の壯者なり（門司發電）

不逞漢出沒

去る七日午前三時頃四名の不逞鮮人平北道義州郡古城面公山洞に現れ同所朴根秀方を襲ひ軍資金二百圓を提供すべしと脅迫したるも所持金なき事判りたれば他日再び來るべければ調達し置くべし若し之れに應ぜざるに於ては家人を鏖殺すべしと云ひ悠々引上げたりと（新義州）

五名を殪す

平北道原昌警察署に於ては巡査部長以下十二名を以て搜査隊を編成し去る六日鴨綠江對岸六道溝奥地に侵出し光復團に屬する青年團を襲擊し其五名を殪し引き上げたりと（新義州）

三名を射殺

平北道義州郡警察搜査隊は去る七日義州郡玉尚面於上洞山中に於て六名よりなる銃器を携帶せる不逞鮮人と衝突し交戰の後其三名を射殺し同時に短銃一火繩銃一を押收せりと（新義州）

魔の手を脫れて（上）
命拾ひをした話
馬賊團は斯うして慘虐を擅にした！

支那長白縣二十一道溝房住白頭山人（假名）は數日前入城來所部在中である。同氏は襲に馬賊長江好の一隊が安圖縣を攻め落し其首か轉じて長白縣を占領せんと二十四、二十三、二十二道溝方面を攻擊した際遭難者の一人で辛うじて逃走し漸く一命を拾つた人である。同氏は當時の狀況に就いて左の如く語つた。

襲に長白縣方面を横行し目下白頭山麓に冬籠中の馬賊長江好一隊は實は宗社黨で奉天獨立軍と自稱して居る彼の一隊は十一月初旬安圖縣娘々庫を攻めて完全に占領し銃五十挺、彈丸二千發を分捕り商務總會其他より八萬四千圓を借受くる爲人質

三十余名 を俘虜として從へたま〻漸次白頭山麓を迂廻して殆ど人跡なき森林地帶を數日間行軍し十一月十五日朝鴨綠江最上の支流二十四道溝に到著し直ちに假根據地として一時休養、更に長白府方面に向ふべく夥多の密偵を放つて彼の方面の模樣を探つて備なきを知つたものか

漸次西下 して來た。其頃前長白縣知事は安圖縣からの急報により長江好の南下を知り廿四道溝に廿餘名の官兵を派遣して居つたが馬賊の兵員が三百名を越ゆるとの諜報を得て官兵は直に退却して了つた後だつたのである。乃で長江好は自ら

百餘名を 率ゐて十七日午後一時頃廿三道溝に下り十八日未明廿一道溝に到著したらしく自分等が銃聲を聞いて驚起した頃は馬賊隊が巡警局を包圍して攻擊しつ〻ある最中で馬賊隊の喊聲と村民の泣き聲相和して轉た悽慘の氣天地に充ちて居つた。自分は家族を呼び起し直に裏門から逃走し馬賊の追擊を避けつ〻林間に潜伏し午前十一時頃漸く

朝鮮側に 歸來したのであつた。自分は久しく支那に在つたが支那官憲に保護せられて居つたのであつたが馬賊襲來の一刹那に於いて最も賴みとする巡警局が易くも包圍せられ人民を保護することすら能はざる狀態に陷いるのみならず悉く逃亡するに至つたとは洵に賴み少い次第であると歎ぜざるを得ぬ。扨て朝鮮側に

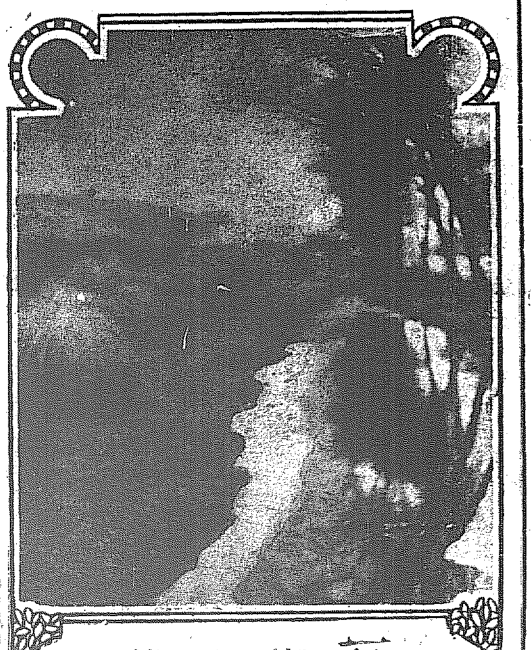
避難して 二十一道溝に於ける後の狀況を聞くに馬賊即ち奉天獨立軍長江好一隊は巡警局を居つて銃器彈藥類を奪ひ更に民家を襲うて家財を掠奪したさうである。其の節官兵五六名が民家に潜伏せるを發見し又巡警局長が家族と共に厩捨場の隅に隱れ潜んで居つたのを引ヅリ出され生恥をかいた

來朝したのは クロポトキン
でまない其の從弟

昨年來クロポトキンの思想を宣傳したとかせぬとか大分我國を騷がしたその本家本元の露國思想家クロポトキン及夫人が從者を從へ七日午後八時二十五分東[illegible]豐かな男が鼠色背廣服で現はれ『私がプリンスクロポトキンです』と名乗り『お尋ねのクロポトキンとは從弟の間柄であるが[illegible]始め世界各國ではクロポトキンの思想を慕ふものが多いが彼等の反面たる獰猛殘忍な行爲は知らぬらしい、私はボルシエヴイ[illegible]をなすべく日本を始め米國などへも旅行する積りである』と語つた（東京）

時勢に眼覺めた 尼さんの運動
髪も伸ばすべく選擧權も得べしと

男僧のみが肉食妻帶を許され又種々の社會事業をなしつ〻あるのに尼僧は依然として舊態を保持するは不可なり、この理由の下に尼僧の選擧權獲得と貯髮問題とを提げて目覺めた尼僧連が新運動を開始しつ〻ある、淨土宗々務所員は語る『淨土三年に一回東京に開かれる淨土宗議會は來る三月上旬迄の宗務所で開かれる尼僧の選擧權や被髮問題も決せられるのであるが淨土宗の選擧權は以前は資格があつて一定してゐたが今は普通選擧で一寺一票である尼僧は一般に或事情のために尼になつたものが多く發心して佛道に入つても低級なため大抵は保守や何かで一院の主となつて行く者が妙いので選擧權の事は目下調査中であるそれから貯髮の事だがこれは早晩斯うなるべきで社會事業慈善救濟等に携はるには勢ひ有髮でなければ前述の如く低級な事情のために歸依する者ばかりになるので所謂有髮尼となるのであるが若し愈有髮となれば教育は高女卒業程度に授け社會事業に盡す丈の腕をつくり平常は服裝も一般婦人と同樣にし髮は束髮丸髷其他各人の隨意とし緇讀むとき丈け一定の式服をつけるやうになるが何れ決定は三月の宗議會である』



冬枯の川

本年の歌御會始
改められた事ども
千葉胤明氏談

御歌所寄人

本年の歌御會始には今迄と變つた事が三つありました第一は聖上皇后兩陛下が御座しますが如き形式で

皇太子殿下 がはじめて臨御相成りましたが嚴然たる御態度を拜しました事は誠に難有く且つ勿體ない事と存じます第二には詠進歌は從來講師の披講する預選歌五首乃至七首位のものでありましたが折角國民詠進の赤誠を成るべく多く御採用あらせられんとの思召で十首以上を選定する事になり從來の例を破つて十首を選びました代り諸役側の

披講歌數を 減じた事は大英斷と存じます第三にはこれまで選歌を發表する場合には身分の高い人から順次卑い人に及んだものでありますが本年よりは選歌選定會議に於て寄人の投票した得點數の多きものから發表する事になりましたのは誠に結構な事と存じます最後に特筆に値する事は巴里にある前田利爲子夫妻が御題の發表前聞合をなされ御題の發表を通知するや

直に電報で 詠進歌を寄せられた事であります尚ほ昨秋明治神宮が新設あらせられ御題も社頭の曉と仰せ出されたので本年は頌詠が少くありませんでした（東京電報）

王世子殿下より御下賜金
京城府へ

襲に京城府より李王世子殿下の御婚儀を奉祝する爲螺鈿机外二品を獻上したる處右に對する返禮として金二百圓御下賜ありたり府に於ては之を永遠に維持せむとし其の方法等目下考究中なりと

祝賀
郵便事業の 創始五十年

我が國の郵便事業は來る四月を以て創始五十年に相當するを以て遞信省は之が祝典を擧行する爲め目下米國通信局長以下遞信局各課長を委員に擧げ一大議會に向つて祝典經費五萬圓を要求したり併し何分現業員十五萬人の多數を有する同省なるを以て花々しき祝賀擧行は六ヶ敷かるべきも此の機會に於て遞信事業史出版は必ず遂行すべき豫定なりと（東京電報）

噂が大き過ぎる
間島方面は平穩
警務局某事務官談

間島方面不穩の東京電報に對して警務局の某事務官は語る『間島方面不穩は噂が大き過ぎる不逞團たる洪範圖の部下が大分鮮內地に潜入したなど確報らしい未だ二道溝以南には彼等の片影を認めない彼等不逞團は目下鳴を靜めてゐるし附近馬賊團との聯合も資力の缺乏から困難となり到底襲擊なぞは出來そうにもない。殊に我兵したとは云ふもの〻未だ國境地方警備の步兵二大隊が間島一圓に配置され警察官も亦軍隊と協力分散警戒に努めてゐる上に此の方面の士氣顯る旺盛であるから假へ色めいたとしても前回の如き不穩さは狀態が全く違ふので左程憂慮すべきものではないと思ふ』

東京市疑獄擴大

東京市疑獄事件は辰澤延次郎の召喚より再び發展する模樣なり十日午前十時淺草區市會議員松野豐は大村に事より召喚せられ同時に山崎豫審判事は同人の家宅搜索を爲し證據書類押收して引上げたり（東京電報）

龍山署の世相劇
大詰の幕はどう始が著く？
男の心から離れやうとする女
女の後を追ひ廻す男

十一日午前十一時龍山署の刑事部屋で三十二三の丸髷に結つた粋な女と三十八九のずんぐり肥つた色淺黒い男と相對し互に口角沫を飛ばしながら罵り合つてゐた、男の眼は血走つて紅く、女の眼からは熱い涙が潸々と溢れてゐた。

×　×　×

男は元三浦本町七十五番地建築請負鍋倉德一（三八）と云ひ、女は同人の內縁の妻であつた加藤光枝（三三）と呼ぶ。今から四年前光枝が同地菊屋旅館に

女中奉公中 始終同館に手間大工として雇はれて來る前記德一と內縁を結び新世帶を作つた當時兩人共裸一貫であつたが夫婦夜の眼も寢ず共稼いだ結果相當の資産も出來世間の信用も得る事となりいつか

兩人の指に は二三本の指輪が金色の光を放つやうになつた、生活が豐になるに伴れ男は漸て女狂ひに憂身を窶し果ては妾を引入れて女と同棲せしむるやう昔の生眞面目さは全く消え去つたので女は行末を思ひ頻りに意見するが用ゐられず果は虐待される樣になり女はいつも

口惜し涙に 咽んでゐた、その頃同家に職人として雇はれてゐた山本信次郎（三〇）は世にも稀な醜夫であるが心が優しく光枝の境遇に同情しては陰になり日向になり光枝をかばつてゐる中いつか光枝は山本の眞情に絆され情を通ずるに至つた、その後男は是を知り

嫉妬と反感 から盛に光枝を虐待し生傷が絶えないので居たたまらず昨年十一月十六日行方を晦ました、男は最初の中は再び詫で歸るだらうと高く納まつてゐたが越ねて同月二十九日職人の山本も姿を晦ましたので偖は云ひ合せて逃亡したものと知り

八方に手配 して行方を搜索したが杳として其の消息を知る事が出來なかつた。處が此程二人が龍山漢江通り三番地に同棲してゐる事を探り姦通と窃盗と拐帶の三ヶ條を縷々と叙して龍山署に訴へ出た、龍山署では光枝を召喚して取調べて見ると前記の始末で其の告訴狀は悉く

虛偽の申告 に過ぎないので偖こそ十一日午前十一時兩人を對決せしめたのであつた

×　×　×

女は男の心から離反して飽迄別れやうとし男は何處までも未練があつて女を離すまいとしてゐる。粹な藤原司法主任は此の世相劇の大詰の幕をどう結ぶや

爆彈密輸犯人押送

昨年十一月下の關署に擧げられたる内鮮人共謀爆彈密輸事件の首魁の一人下の關生れ山本磯松は朝鮮に逃走中逮捕せられ九日下關に護送られたるが直に檢事局に押送取調べを開始せられたり（下關電報）

贋造紙幣
近頃現れた
直ぐに見別がつく

近來鮮內に於て贋造紙幣が流通して居る過日開城でも帝國政府五十錢紙幣二枚を發見した或は各方面で多數流通してゐるらしい該紙幣は一見巧妙に僞造して居るが色合は赤褐色及黃に赤味を帶びて居る其他インキ異ひ等で判別する事が出來る一般にも注意するの要があらう

泣面に蜂
妻を奪られた上に一個年の懲役

府內黃金町四丁目三十年魚商堤正吉は子までなしたる內縁の妻岩田アキノが同町同番地自轉車業中山馬三郎と醜關係を結んだと云ふので昨年九月十一日出刃包丁を以て馬三郎宅に至り貴樣は俺の妻と姦通したから金五百圓の慰藉料を出せと强請脅喝し內金百圓を受取つたので脅喝取財として一ヶ年の判決を言ひ渡され女房と通ぜられた其上に監獄に押し込められるは無念と歯がみをして法廷を下がつたと

金錢を強奪

連川郡積城面館洞洪在根（五〇）支那郡明瀧里白鳳洙（二二）は上海假政府愛國金券募集者なりと稱し木片を爆發物の如く裝ひ楊州郡伊大面生源里洪登燮朴仁秦から三回に數百圓を強奪した又白は單獨で朴仁泰から三百圓を強奪した事判明其筋に檢擧された

中券藝妓の表彰式

十日午後二時より中券番に於て同券藝妓昨年中の線香賣上げ表彰式を券番樓上に擧行したが券番附屬置屋主人連を始め藝妓全部列席し松井取締內原副取締より左記藝妓にそれ〲賞狀に賞與金を添へ授與した

▲壹等 布袋家園枝▲貳等 新花月吉奴▲參等 新花月太郎▲四等 吉田家梅若▲五等 新花月桃太郎

○柴田局長令兄の訃　柴田學務局長令兄柴田勇太郎氏は十日郷里福岡縣糟屋郡箱崎町にて逝去したる由右につき柴田局長は十日夜急遽內地へ出發したりと

演藝

▲浪花座 一風信改、中村玉六一座替り狂言（十二日より）▲前『淸見武勇傳』大序より排々退治の場迄五場▲中『爺日記邊山姥』一場▲切『鈴木大功記十段目』一場

地獄耳

▲大村商業會議所書記長には『元兇』といふ綽名がある▲話は少し舊聞に屬するが妙心寺の瑞巖和尙の處に東京の大學生から藤村の羊羹を寄附して來た▲和尙は珍客の接待に用ゐやうと思つて大事にして床の上に仕舞つて置いた▲或る日曜日に大村君を初め居士の連中が提唱請の爲め妙心寺に出つたが恰度其日は和尙が南部巡錫で不在であつたので居士の連中は碁でも打たうと瑞巖和尙の隱寮に陣取つたが目に付いたのが件の羊羹イヤ遠慮なしに切出して來たのが何でも大村書記長らしい綺ぐるみ片付けて仕舞つたものだ▲和尙が歸山して披いて見たが影も形もない▲結局發木先生が大眼玉を食つたが其の蜜水今に至るまで何の爲めに目玉を食つたのが隨張り解釋に苦しんで居るとは殺生だ

自轉車電車を衝く

[illegible]金町二丁目九番地先で[illegible]行き電車八三號と衝突人事不省に陥つたが附近の醫師で手當を受けて蘇生

緩衝機（投書歡迎）
列車ボーイの腐敗
京城壽町　磯逸生

私は急用があつて、昨臘廿一日午後十一時十分南大門發の北行列車に乘車した。翌朝南市驛を過ぐる頃列車ボーイが食事の注文聞きに來たから丼一個を注文した、それから直ぐに食堂で注文の丼を食し終り食堂ボーイに値段を尋ねた處、領收證を盆の上に載せ呼ふに私の前に差出した。代價は八十錢と數字で記してあるから、小錢はなかつた懷中を調べたが生憎小錢がなかつたから五圓札一枚を渡し釣を求めた、ボーイは右の領收證と共に定盤にて釣錢を調達し又前の樣に頗る叮嚀に殆無頓着の如く釣錢を盆の上に載せて私の前に差出した、領收證は別に用もないから元の如く盆の上に置きて私は退出しやうとした其間際にボーイは先の丁寧なる態度とはガラリと變り殺し稍削なる振舞を以て右の領收證を盆の上から私の頭上目掛けて投げ付けて何か口中につぶやきながら立ち去らんとしたから私は何の事やら一向理解に苦しんだのである、然るにあまり不禮の極みであるから、彼を呼び止め其の不都合を詰めたが彼は又狂亂の如く『なにか』と殆んど私は甚しき無禮雜言を聞かされたのであつた、それから私は車掌と事務長を呼び立會の上彼れが非行を正し聊か教訓を與へて彼れの前非を悔ゐ謝罪をなすに至つたから今後を注意して退出した、私は彼れか眞理を解するに餘り私の心付けの有無なりにより彼れは不滿の極如此暴動に出たのであらう、さすれば實に不心得の甚しきものである、如此振舞を放任したならば幾多の內外國人の乘客に對し實に不快の念を生ぜしめ食堂に足を向ける者が少くなる事なりはすまいか、敢て當局者の彼等に對する注意と改善を望む次第である

驚くべき學術の進步
（誰にでも實行出來る）

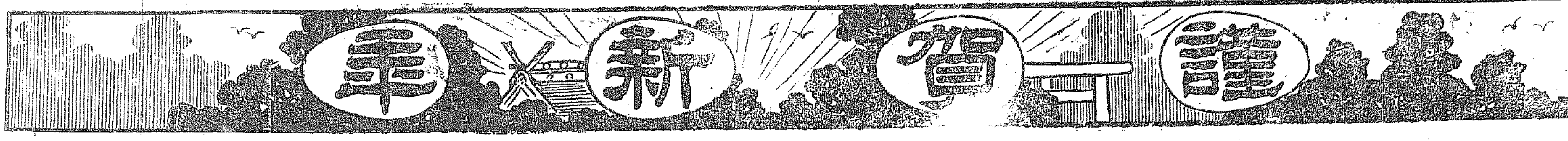
人間が病に罹つたり又は年を重ねてから元氣が衰へて行くと言ふのはプラスマの減損に因るのであるプラスマと言ふものは人體の細胞中に在る健康の素とも言ふべき大切なるものである。プラスマが減るから人は弱くなつたり衰へたりする。若し是を補ふものが有れば決して老衰もしなければ病にもならない、其の證據には老人や病人の身體を試驗して見ると其の細胞中にはプラスマは少く、死んだ人の身體には絶無である。是を見てもプラスマが人體の生命の素と言ふ事が能く解るであらう。故に人間の身體に無くてはならぬプラスマを常に補給することが出來るならば、醫者の厄介にもならずに働く事も出來やうし又六七十になつても三四十の人と同じ樣に元氣よく活動して行かれる譯である。それが爲之迄此の學說に基いて多くの研究が試みられたけれども此のプラスマの完全なる補給方法は容易に發見されず長い間學界の問題として殘されたのであつたが學術の進步は遂に此の問題を解決して驚くべき發見を齎したのである。夫は中井工學博士の熱心なる研究と努力とに依つて發明された滋養強壯劑「活力素」なるものである。此の新劑を常に用ひて居れば自然とプラスマを補給するから病者は其の全治を早めると同時に老弱を癒やし、更に壯者はその健康を確持增進するは勿論年を取つても氣力は衰ふことなく髮の毛は[illegible]より剛に至るまで壯年の時と變らぬと云ふ洵に不老不死と稱するも可なる不思議の藥劑である。博士は發見の初めに當り之を先づ自身に試みて研究せられた。博士の實驗に依れば始めは何等の容態をも認めなかつたが用を續けるに伴れて驚くべき效果を感じられたのである。先づ腦の働きが敏活になり、曾てない精神の爽快さを覺えたのであつた、隨つて疲勞倦怠も何時しかなくなり活動能率の著しく增大を來たしたのであつた、また消化器を助ける結果食慾の增進を見血液の循環を正しくする等の外の成績を示したので博士自身も其の偉大なる效驗に驚かれる程であつた。そこで是を二三の友人に分與して試用させたが老人は素より婦人小兒に至るまで全く『活力素』の活力素たる未曾有の效驗を賞揚して已まなかつた。かくて希望者が多くなるに付け、廣く之を世の人に頒つたならば國家に益を與ふる事多大なるものと考へられ、此處に一般の需めに應ずべく販賣を承諾された次第である。併し世にありふれた賣藥の如く徒らに誇大なる廣告を用ひて發賣することは堅く禁ぜられた、社會奉仕としては博士の趣旨の下に創製された活力素の發賣を承認したと云ふ。◎活力素は東京市京橋區五郎兵衛町五番地活力商會（電話京橋二五九九番、振替東京二〇八六〇）で販く發賣して居る、定價は一ヶ月分三十錢（五人一圓八十錢）、內地送料十五錢、共同十二錢の家庭用瓶及十三圓の家庭用瓶もある。

內科 胃腸病　診察夜九時迄
京城本町一丁目　石川醫院　電話一三九〇番

お髮の美を增す　最も良き御髮油
本舖 大阪東區南久寶寺町四　關西發賣元 藤森源之助

外科內科 皮科徽　X光線KS式ヂアテルミー科
院長 正六位勳四等 島崎龍一
京城旭町　島崎病院　電話七三六番　入院隨意

資本金 五千萬圓　積立金 貳千五百萬圓
株式會社第一銀行京城支店
京城府本町二丁目
頭取 佐々木勇之助　支配人 藤森忠一郎



新春の御穿料

保溫　防寒

オニタビ

製造元 ㊥ 鬼足袋工業株式會社
發賣元 ㊥ 寺田合名會社
東京市日本橋區大傳馬町一丁目

米が安いのに高い肥料代を拂ふ「馬鹿が何處にある」

大正の二宮尊德翁岡部久四郎先生の大發見　慘憺たる悲況より農村を救濟する安價肥料

米價の大暴落と農村の大苦痛

米價昨今の大暴落は地方農村の大苦痛、國家の大問題であります、稅金の負擔は益々重くなる、戰爭以來高まつて來た生活費は容易に輕減出來ない、寢ても起きても金の心配許りであります、而も一方の副業たる蠶繭は損になる、唯一の生命の綱と賴む米價が此のやうに安くなつては農家は勢ひ慘澹たる悲境に陷らざるを得ないではありませんか、昨今、或る地方では小學校敎員の月給も拂へないと申して騷いで居りますが、之は拂はない村が惡いのではなく、拂ひたくも拂へなくなつたのであります、稅金を拂ふのは國民の義務であります、誰しも其の義務から免れたいと望むものはありませんが、高い肥料代を拂つて安い米を賣つたのでは、第一、自分達の生活が出來ないので稅金はツイあと廻しになるのでありまして、誠に同情に堪へぬ次第であります。

此の難關を切り拔ける方法は唯一つ

今はウカ／＼して居る時ではありません、一刻も油斷して居る時ではありません、今の内に方法を講じないと百姓は借金が殖へるばかりで、忽ちの内に祖先傳來の田地田畑を人手に渡すやうな事になります、然らば此の難局を切り拔けて生活の安全を計る方法は如何、即ち唯一の救濟方法は高い金肥を使はずに岡部式の自給肥料を使用する事で、岡部式の自給肥料を使へば一文も金がかゝらぬと云ふ位安く上ります、肥料の原料は自分で作り、其れに手廻りにある雜草や人糞を岡部式に調合するので、此の方法に依つて大利益を擧げて居る人が尠くありません、現に岡部先生の小作人三百三十餘名は同先生指導の下に每年三千圓乃至五千圓の利益を收めて居ります。

岡部先生は大正の二宮尊德翁

此の大利益ある岡部式農法の創設者岡部久四郎先生は大正の二宮尊德翁であります、現に栃木縣の大地主でありますが祖先傳來小作人を愛撫すること甚しく、曾つては歐米各國に滯留して自ら百姓となり、各國の農法を研究して金肥の我邦に適せざることを發見し、日本內地に適する先生獨特の農法を發見されたのであります、又先生は最近數萬圓の自費を投じて先生の居村に二宮神社を祀り村民の啓發に努めて居られますので實に近來稀れに見る高德の士であります、先生の發見された此の實驗的の金のかゝらぬ自給肥料の製造法、と收穫の多くなる農作物の手入法とを極めて通俗に詳細に說明したものは東京京橋區新肴町日本圖書出版株式會社發行の『岡部式自給農法講習錄』であります從來定價金貳圓なりしを農村救濟の趣旨を徹底さする爲紙質と體裁とを改め金八拾錢に大割引をなし送料共金八十四錢を振替東京一二〇三一番へお拂込みになれば即日送本致します、又アト金で拂ひたい方はハガキにて御注文次第代金引換で御送り致します但し代金引換は送料共金一圓であります、日本圖書出版株式會社は資本金壹百萬圓の有力會社なれば斷から其ることなく一本を求めて速やかに米價大暴落に對する善後策を講ぜられよ。

特典!! 會員は習作を提出し一流の大家より批評を受くるを得之れ本邦唯一通信美術學校たる本院の特色のみ也

一ケ年卒業　日本畫講義　（會費月額壹圓）

課目と講師
▼畫法一班…帝展審査委員 結城素明　▼歷史畫講義…吉川靈華　▼花鳥畫法…帝展審査委員 荒木十畝
▼美人畫法…帝展委員 鏑木淸方　▼山水畫講話…平福百穗　▼古畫研究…安田靫彥
▼墨畫研究…美術學校敎授 川合玉堂　▼圖案講義…杉浦非水　▼色彩講話…帝展審査委員 松岡映丘
▼鉛筆畫法…森田恒友　▼肖像畫…高村眞夫　▼人物畫…帝展審査委員 鹿島英二
▼水彩畫法…帝展審査委員 中澤弘光　▼油繪描方…白瀧幾之助　▼透視畫…板倉賛治
▼木炭畫法…美術學校敎授 和田英作　▼風景畫…石井柏亭　▼近代畫史…石川欽一郎
パステル　圖案科　その他一切の課目

一ケ年卒業　正則洋畫講義　（會費月額壹圓）

創立以來修卒業者六萬人 中には專門家として立てる者多々 驚くべき好成績を擧げつゝあり

見本つき規則請求者　（双方請求は郵券拾錢封入）　希望科目を明記し郵券六錢封入申込め　無料にて贈呈す

東京市本郷區湯島六丁目廿　日本美術學院　振替東京八八五　電話京六八八

● 不景氣時代の財產の保護と其利殖

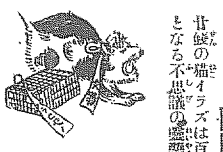
◇好景氣時代に折角貯蓄した富を如何にして減らさぬ樣にするかの具體的方法
◇好景氣時代に折角貯蓄し得た富を益々殖やして行くかの具體的實行方法
◇不景氣時代に益々殖やし得る富の具體的實行方法
◇不景氣時代に何をなすべきかの具體的實行方法

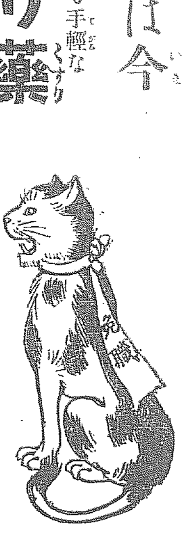
[illegible]

鼠!! 退治は今

不思議によくきく最も手輕な 鼠とり藥

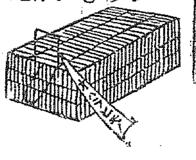
廿錢の猫イラズは百五十疋の殺鼠力があります然も使用法は誠に手輕で安全でそれで鼠が腐敗せずにミイラとなる不思議の靈藥なり。





猫イラズ

定價　一圓　五十錢　三十錢　二十錢



■全國到る處の藥店にあり　■僞物あり猫イラズに御注意を乞ふ

發賣元　東京日本橋區本石町　成毛英之助　（電話本局四六八二番　振替東京一九三二七番）

藥種問屋　佐賀市白山町東詰　猫イラズ九州支店　（電話三三〇番　振替福岡三四二番）

萬一最寄藥店に無之節は直接御注文を乞ふ郵券代用不苦　但郵券は一錢五厘切手に限る

自宅に居ながら料理が覺えられる

女は是非料理と裁縫と禮儀作法とに通じて居らねばならぬ。殊に滋養ある安い食品を美味に料理する事は尤も肝要である

◆東京割烹講習會は夙に『家庭料理講義』を發行し、各專門大家をして、料理と裁縫と禮儀作法とを誰にも分る樣に、平易に、親切に講義せしめ、每月一冊宛會員に分ち居れば、同會に入會すれば、自宅に居ながら完全の家庭人たり得るのである

◆會費　壹ケ月分五拾錢なるも、此際參ケ月分壹圓四拾五錢に半年分貳圓七拾五錢に、壹年分五圓參拾五錢に割引する故、前金拂込は集金郵便法よりは頗る利益である

◆一冊分賣　一冊でも間に合ふ樣に其の季節の料理が滿載してあります、御望の方は六拾錢（郵券代用壹割增）添へて申込めば特に分賣します

◆見本進呈　見本入用の方は新聞に依る旨申越あれば、直に進呈します

東京市本郷區元町　本郷郵便局私書函第四號　振替東京一九四一〇番　電話小石川二六四二番　社團法人 東京割烹講習會

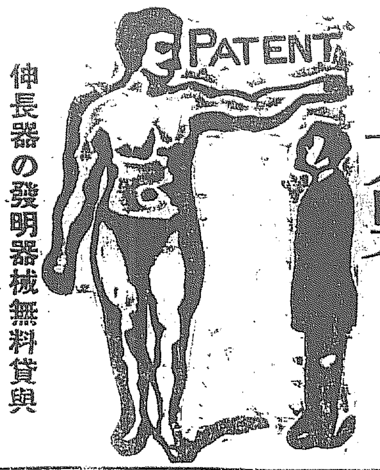
料理叢書

第壹編　鷄卵の料理　榎本小太郎・松本久三郎兩先生合著　定價壹圓貳拾錢 送料四錢
第貳編　豆腐の料理　榎本小太郎・松本久三郎兩先生合著　定價壹圓貳拾錢 送料四錢
第參編　馬鈴薯の料理　榎本小太郎・松本久三郎兩先生合著　定價壹圓貳拾錢 送料四錢
第四編　食事の作法　伊勢流正統・松崎双葉先生著　定價壹圓五拾錢 送料四錢
第五編　料理の秘傳　榎本小太郎・松本久三郎兩先生合著　定價壹圓五拾錢 送料四錢

東京本郷元町　振替東京參九七參壹　株式會社 東京割烹講習會

專賣特許・實用新案登錄　有功金牌受領

小男も大男となる



伸長器の發明器械無料貸與

男女共背が低いと一生の間何程の損か分らないが最近特許局の登錄を受けた伸長器は全身の骨と骨との間軟骨を伸長せしめ自宅で背が高くなると同時に姿勢も矯正さる國家的寶器の一大發明である公益普及の爲め希望者へ背の伸びる迄器械無料で貸與す安全無害輕便秘密に出來るので誰にも一層便利である手續はハガキで新聞名を記入照會すれば秘密に詳細を通知す

東京京橋入船町　器械療法所

◎ぬり藥だけでは毛は生へぬ

博士の審査　一等賞金牌

毛の生へる療法

三博士の審査實地の效力確實なるにより今回名譽の一等賞金牌を受領せる本療法は在來のヌリ藥だけで毛の生へぬ人も僅かの日數で、禿頭病、腫物痕、眉毛生際、脫毛、薄毛、有るべき所に毛の無い人も初めて毛の生へるもので、驚く程太く濃く普通の毛と變らぬ立派な毛髮となる。毛髮薄く人知らず晝に泣き夜に悲しむ人の爲め此の一等賞金牌受領の器械を無料貸與す

無料貸與

ハガキで申込み療法見本全部を送る

東京築地入船町一の一　野村

自動唐箕附　ナショナル精米麥機

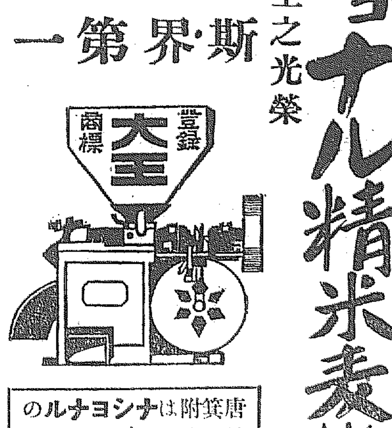
專賣特許　賜宮內省御買上之光榮

賜李王職御買上之光榮

陸海軍御用達

上御嘉納　畏き邊の御嘉納

登錄商標　斯界第一



本機は絕對模造を許さゞる權威ある特許權を有す

唐箕附はナショナルの外他式には絕對に無し

（說明書無代進呈）

發賣元　東京淺草區南元町二六　合資會社 精工商店　電話特長下谷二七一七番　振替東京一二六六八番

定休日・日曜日・大祭日

特約販賣店　京城南大門通一二五　電話六〇九　振替口座京城三三四三　電略（カ）又八（カチ）　角一商店

舊外人土地法發見

テキサス州ハーリンゲン九日發電

[illegible]排斥運動の […]を慮れ居るもの、如し（テキサス州ブロンスヴィル［…］二千萬以の會社を設立し露國に支店を設くる事に決定せりと）東京發電

各銀行下半業績（一）

殖産銀行

下半季末金融利子收入の次期繰越多き關係より當期業績を氣遣ひゐたるも歳末の營業順調なりしため相當の成績を擧げたりと見得べし に於ける殖産銀行の預金貸出勘定現在左の如し

預金	三五、一八一、八〇〇圓
勸業貸附	二一、八八四、六二〇
商業貸附	三三、〇四四、四五〇

にして之を前期末に比すれば預金に於て一千五百萬圓の激增となり勸業貸附は同じく八百萬圓の激增なれど商況の不振取引の閑散に伴ひ商業金融は約二十萬圓の增加に過ぎず然も商業金融は九月十月の交に於て著しく減少したる模樣なれど歳末に引返したるものゝ如し又勸業金融は諸種資金の申込繁忙にして二割の增加を示したるは同行の職能を財界不況時にも發揮し居れりと見得べき乎而して損益勘定は左の如し

利益金合計	六、九〇六、九九九圓
損失金合計	六、一三六、八六六
差引純益金	七七〇、一三三

當期純益金は前記七十五萬圓の純益は對拂込資本金一千五百萬圓に對し年一割に相當するにつき各種積立金役員賞與金を控除するも株主配當は一分增配の八分となす必ずしも困難なかるべく或は八分五厘可能の算盤ともなれど當局者も一分以上の增配は敢てせざるべし

十八支店

十八銀行京城支店の下半期營業成績は十月以前綿絲布界の暴落に對する警戒又十月以降は例年の穀類出廻り期に入るも相場の見角に軟弱なりしに制せられて一般資金の需要多からず加ふるに內地資金の流入により資金潤澤を見るに至りしが年末繁忙を呈したるも警戒持續しつゝ經過せり預金の合計は百八十四萬圓貸出は二百五十三萬圓にして預金貸出共に前期に比し減少を示せるも前期に近き成績を收めたり

臘末京城財界

金融界　朝鮮銀行調査

師走に入りたるに不拘金融市場は相變らず閑散不振の裡に推移し新穀の出廻は逐日增加せる割合に資金の需用少く綿糸布、雜貨亦概して秋扇なれば季節商品の仕入も手控勝ちにして預金貸出は依然漸減を續けしが

決濟資金の移動と共に歳晚に差迫り

米價の反騰に促されたる廻米資金の移動あり爲めに同業者側の特殊預金及一般**小口預金**の引出相踵ぎ此の方面に於て聊さか歳末氣分を漂はしたれど市況概して平穩無氣力にして鮮銀季末殘に於て貸出約八十萬圓、預金約二百萬圓を增減し市內各銀行亦何れも多少資金の移動ありたる模樣なれど近年稀有の閑散狀態を以て越年せしものゝ如し

商品界市況

米　旧廻りの漸增に連れ地拂上玄十八圓所に落込みたるが農家の賣惜しみと値頃思ひの買物あり且つ期米の好轉に反應歩調となり月末には二十圓三四十錢所を底堅く保合なり

大豆　正米の下押に先安を氣構へられ實筋の外需手少なく商內閑散なりしが年末受渡期日切迫に隨ひ弗々埋買ひ日の需用あり市況は漸次持直し來れり

粟　滯貨現に角一掃せられてより商內一向振はず目下の相場は區々なるも最近元山物七圓にて一車取引ありたるが如し

砂糖　年末に接近し買物增加せる割合に商內閑散にて月初セー印三十五圓を唱へられたるものゞ安にて月末には三十三圓見當にて落ち込みたるが氣配は底堅き模樣なり

綿糸布　內地相場に比し幾分割高に保合ひたるが年末に至し稍々買物漸增し月末頃へ値は月初に比し何れも三四十圓方下値を示し三ヱース二百四十圓にて商內ありたり

大正兩製糖合併

東洋製糖會社にては十日午前九時より生命保險協會樓上に於て臨時株主總會を開催し大正製糖會社と合併の件を附議し假契約書を承認したるが大正製糖會社にても同時に本社に於て臨時總會[…]

地株人氣變遷

たり（東京電報）

京城株式現物取引市場の賣買株は臘末まで殆ど京取株に集中し他の諸株は商內寥々たるものなりしが新春後は京取株の人氣全く消散し十一日の如き寄附出來ずの狀態なるに引替へ他の地株は株數は兎に角こし賣買の出來値を附せらるゝもの多きがコハ腰入れて京取株の商內をなす信託組合の運用不公平にて飛んだ莫迦を見るべしとの危惧の念並に株式賣買に對する一般人氣の變遷に依るものと曰ふべきか

京畿徵稅成績

十二月現在京城府に於ける徵稅の狀況を聞くに徵收狀況は一般に可良にして左の數字を示し居れり

	調定額	收入濟額	割合
市街地稅	一六八、一四四圓	一四六、八二六圓	八四
市街附加稅	五二、三六六	四五、一〇八	八五
府稅附加稅	一〇四、六〇二	九三、六〇四	八八
同上家屋稅	一五、八四	[illegible]	七二
附加稅	九七、三〇四	九三、九〇〇	九六
酒稅	[illegible]	[illegible]	[illegible]
煙草稅	三二九、三七〇	二六九、七四九	八二
朝鮮銀行	五〇、八九九	五〇、八九九	一〇〇
券稅			

信託定款出來

京取市場にて立案を急ぎつゝある信託會社の定款並に目論見書は一兩日前脫稿印刷に附すべきを以て一月卅一日臨時株主總會を開き信託會社株式の引受けの件を附議すべしと

各地廻穀減退

昨今漸く懷淋しき[…]例年臘末より一月中旬に亘つて全鮮の出穀減退するを常とするが本年も其例に洩れず西鮮[…]

一銀支店招待

南大門通りに新築竣工した第一銀行京城支店にては來る十六日有力方面を招待し內部を觀覽せしむる由

○日銀帳況　八日現在左の如し

發行高	一、二六八、九六六
正貨準備	一、二六八、九六六
發行餘力	一二〇、〇〇〇
貸出高	一〇四、〇二八

○鮮銀券日報　十日現在左の如し

發行高	一〇六、一六六、一一四
正貨準備	六〇、四二七、八八八
限外發行	……

○京阪金利　十一日現在左の如し

	東京	大阪
コール		
無條件	七、〇〇	……
翌日物	六、〇〇	五、〇〇
六十日物	一五、〇〇	……
普通歩合	二六、〇〇	……

財界閑話

不景氣の聲は賀田新社長と柴田新專務で內部の整理刷新に大鉈を振ひつゝある▲新社の如き馬越恭平時代に比し殆ど六分の一に減ぜられたらしく業務の改革も漸々歩を進めてゐる▲從來の經營は資金の使途の順序と方法を誤つた爲その建て直しは大抵だけに餘程難事らしい▲然し近く市場に賣出す電燈も供給の方法も前途の明を見出したといふ▲柴田專務はカッチリした堅實な實業家の男で會社が賴ふ人として不足はないかと曰はれてゐる▲[…]

賣物一巡か　平澤新穀

平澤の出穀は昨臘末まで頗る多く商銀支店の新米放資は約六十萬圓に達したるが新春に入つて申込閑散を呈しつゝあり或は歳末決濟並に納稅資金の需要等の關係もあれど資金の積極[…]賣物一巡せし爲めにあらざるかと云ふ

鮮の許港に於ける內地積出し減退し阪神方面に於ける朝鮮定期航路の如き船腹の充足困難の事情にあり從つて內地船の來航も少しこの事なり尤も昨今稍增加の模樣ありと

安東取引許可

申請中の安東商品證券取引所は十日附外務省より設立許可の指令あり（安東特電）

天然採氷開始

鴨江天然氷株式會社の創立事務は其後益進捗し近く創立總會開催の運びとなれるが一方採氷は時期の關係もあり發起人創立委員に於て責任を以て創立總會を待たず決行の必要ありとし十日より採氷を開始したり尚同氷の販路は九州及び滿洲方面にて一般魚肉類の冷用を主眼とし採算上有望視され株式拂込の如きも財界不況の折柄意外の好況を呈せる由なるが同社にて朝鮮產業開發に貢獻する意義に於て社名の如きも朝鮮天然氷株式會社と改稱する事の至當なりとの說をなす者あり近く社名改稱の現すべし

株式（十一日）

前場無活氣

今朝の市場は全く無風狀態を呈し一圓以上の動きを見たるものなく殊に京取の如き全然氣乘らず今週出來不申にて二圓四十錢方御事も付け値なに一値にて淋しく打止め新新變らず拓新三十錢安亞新二十錢安仁取二十錢高鮮銀五十錢高京取二十錢安[…]

後場稍好調

後場も依然無風帶にて日立ちたる動きなく京取今週出來ず來週二十二圓四十錢に寄付大引五十錢と打止來新變らず拓新二十錢高[…]

錢高し

[…]一圓二十錢[…]

强弱の主張

相場のある限り市場には樂觀悲觀の兩說は何時の世にも免れぬが就中相場の落付いて居る時程殊に其主張が行動に鎬を削るは此村の慣ひであれど此相場の前途に對して人に依つては寧へ此鼻トン／＼拍子に相場の活躍は望み少ない迄も相場は昨夏秋の最安値時代より今日底百日かぎ二百日の休證時代にあるもの人心も追い安定に向ひつゝある事實より推して株式の深さ低落は最早望むべからず否な今日不景氣の休證時代に買はればそう安いものゝ手に入る時期は來ないかも知れない[…]

株界片々

[illegible]

京城現株市場主要株出來値（十一日）

[illegible]

安取營業認可

安信の後身たる安東商品證券取引所は客年增資改造以來錢鈔開業の準備を急ぎ居たるが愈々十日附を以て正式に認可の指令ありたる由なれば近く開業の運びとならん

前場ノ乙部

前場の乙部は商內振はず大新來週六十二圓九十錢にて五十枚上取來週六十二圓五十錢に十枚の手合ありたるのみ

後場ノ甲部

後場は大新來週六十三圓四十錢跡四十八錢に取來週六十八圓五十錢跡九錢[…]

東京現株特電

[illegible]

大阪株式特電

[illegible]

安東株式特電

[illegible]

落付風情　人氣漸く

▲値頭を買ふ以外未だ何等の確信なき強氣であつた[…]

仲買委員會

京城仲買人委員は十日午後市場樓上に於て會合を開き仲買人總會開催の事を協議したる結果十二日午後開催することに決し席上三名の役員補缺選舉をなす等なりと

紐育株況

株式市場は鈍狀にてスチール株八十三弗三二安アナコンダ銅株三十八弗と變らず（紐育八日發）

米況（十一日）

仁川期米　十一日前場

前日の後勢寄りに二十二圓の關門を固守されたるは反動の氣配なし[…]

東京正米軟化

[illegible]

軟化四十錢安

[illegible]

客筋殆ど總賣

[illegible]

賣買差引殘

[illegible]

後場跪かり

[illegible]

期米雜觀

[illegible]

京城正米市場

[illegible]

廻米稍多し

[illegible]

前場商內

[illegible]

京城穀物延取引

[illegible]

釜山正米特電

[illegible]

群山正米特電

[illegible]

仁川正米市場

[illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

下關期米特電

[illegible]

各地期米特電

[illegible]

大阪三品特電

銀塊四十片三分一

米棉二圓高

仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町
(正) 仲買店
電話一八二一長一八三番

仁川米豆取引所仲買人
本店電話一七二、二七二
長電話一〇五
(ヲ) 仲買店

仁川米豆取引所仲買人
電話長三一八
(北) 仲買店

仁川米豆取引所仲買人
坂倉仲買店
電話三五五番

仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸通三丁目
那須仲買店
電話長三三一、七六三

…有價證券現物賣買…

法人登記公告

金融組合登記公告

横城出張所

原州支廳

連絡船上陸客

株式名義書換停止廣告
京城株式現物取引市場

女事務員見習　女給仕　募集
京城日報社庶務部

肺結核新藥
ファゴール
醫學博士 高橋順太郎氏創製
一手販賣元 友田合資會社

各種毛布代理販賣開始
京城日報代理部

店員解雇廣告
下元馬次
丸一商會京城本店

珍書肉布團
花中社

大木耳鼻藥
大木合名會社

優等清酒
富安本店

眼科專門
金井眼科醫院

設計監督
中村建築事務所

十八銀行京城支店
同 新龍山支店
同 龍山出張所

曙

第三十九回

徳田秋聲 作　(挿畫) 近藤紫雲 畫

初戀の人 (4)

ある日の午後も、絢子は白井と一緒に山の手の遊園地を散歩してゐた。その日は白井が學期の一番で歸京すると云ふ日なので、二人は何時になく淋しい氣持で、そこらを歩いてゐた。そして輕い疲勞を覺ゆると同時に何となく慊ないやうな思ひで絢子が宿へ歸ると、思ひがけなく、若い姑のお須磨が東京から來てゐた。

『そこへ行つてらしたの。』お須磨は部屋の入口まで來た絢子の顔を見ると、いきなり聲をかけたが、一緒にそこまで來た白井は、ちらとお須磨の姿を見るより、其儘引返して了つた。

『まあ可いぢやありませんか。』と、絢子はわざと分明した態度で、白井に言つた。『私共の母に當る人なのでございますから。』

『然うですか。ではまた何れ更ためて……。』と、白井は振顧つて、虚心な表情で應へた。

『ではあの御免下さい。』絢子は大きい聲で白井を送つてから、靜かに部屋へ入つて來た。

『まあ、奈何して入らして？ あなたが入らつしやるなんて、私思ひもかけませんでしたわ。』

絢子は然う言ひながら、座に就いて挨拶した。お篠は貞子に寄木細工の玩具をあてがひながら、縁先へ出て遊ばしてゐた。

『私もね、來るつもりはなかつたんですけど、修善寺は娘時分にね、二三年も續けて夏を來たことがあるもんですからね。懐しいんですの。でね、あなたのゐらつしやるうちに、是非一度遊びに來たいと、然う思ひましてね、そのことを話すと、旦那は意外にもね、それぢや行つて來るが可いと、お話しが出たんですのよ。』

『まあ。』と、絢子は自分の迷惑さを色にも出さず、『私も淋しくつて仕樣がなかつたんですの。けんこに好うございましたわ。』お須磨は着いたばかしだと云つて、まだ荷物も宿替へずにゐた。そして、大きな袋が一つ、傘やコートや膝掛など、一緒にそこに置かれてあつた。

『それにね、私も少し體が惡いんですつて……。』

『然うですか。』絢子は茶を淹替へながら、『お疲れなすつたでせう。お湯にお入りなすつたら如何？ 私も御一緒に入りますわ。』

『然うね。ではひと風呂入つて來ませうか。』

お須磨は些と鏡臺の傍へよつて、襞の崩れなどを輕く撫つけると、帶を解きながら『今の方、誰方？』

『あの方？』と、絢子はお須磨を見上げながら、『あの方ね、學生時代にね、私の父のところへ來てゐた人なんですの。私五年ぶりで、ふと此處で逢ひましたのよ。』

『然う。』と、お須磨は袋の紐を解いて、中からごた〳〵と色んなものを取出した。派出な柄の浴衣や、不斷着の單衣羽織や、手の化粧品などが、そこへ出た。そして、貞子への玩具や、菓子の罐などをも彼女は小机の上に置いた。

『何だか私、久し振りで旅行するのが嬉しくつてね、周章て荷造りをしたもんですから……。』と、お須磨は獨言のように言つて、『これ、貞子ちやんに一つよ。』

絢子とお篠が交々お禮を言つて、其中の一つを貞子に握らせた。貞子も子供らしく頭を下げて、お須磨に言葉をかけた。

浴衣に着替て、細い伊達卷をすんなりした其腰に卷付けると、『隨分堅い商賣の方なんですね。もう餘程お長く此所へ？』

白井が法學士で判事をしてゐるのだと聞いたお須磨は、然う言つて絢子の顔を見た。

『いらしたのは、私と同時くらゐなんでせう。明朝歸るんですつて。』

『然うですか。何だか大變立派な男ね。』お須磨は直ぐそんな風彩の品評などをしながら、其の儘絢子と一緒に廊下へ出た。

『私、温泉なんて、幾年ぶりだか知れやしないわ。』お須磨はいそ〳〵と、手拭を提げながら絢子と並んで梯子段を下りて行つた。

酉の傳說 (承前)

天鷄と王鷄

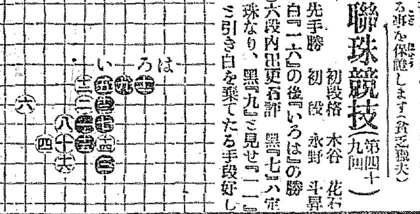
鷄の種類は、頗る雜多であるが傳說に遺る珍奇なものでは、先づ天鷄がある。玄中記に依れば南東に桃都山がある。その山に桃都と云ふ、大木があつて、枝の廣がること三千里。その上に天鷄が住る、日の初めて出る時は、先づ此の木を照し、乃ち天鷄の鳴くに連れて、天下の鷄皆之れに隨つて鳴くとある。神異經にも、扶桑山に玉鷄が居る。この玉鷄が鳴けば金鷄が續いて鳴き、金鷄が鳴けば、石鷄が鳴き、石鷄に續いて、天下の鷄悉く鳴き、潮水も之れに應ずると戰せ、共に伊賦夜坂の故事に則つて居る。要するに日本は日の神の國であり。日の神の好ませらる、鷄の王が住るて、日の神の御光を受けると、即ち聲を發し、天下の群鷄が之に和する空想を脚色したものであらうが、西洋にも、支那にも、之に似た傳說があり、印度には鷄王の佛話がある。曰く『過去の世に雪山の傍に山があつた。鷄の王が多くの鷄を第ゐて住つて居た。鷄王の冠は極めて赤く、身體は極めて白い。或時鷄王が鷄帝に向つて『お前達は城邑聚落を離れて、人里近くに遊びに行つて、人民共に喰はれてはならぬぞ』と、敵を避けるやうに教へた。然るに聚落に一匹の猫が居た、鷄の居るのを見付けて、慣れ〳〵しく側に近付き、妖艶かしく言ひ寄つて、『鷄王さん、妾を貴郎の家内にして下さい。貴郎はホンとにお綺麗くて、お頭の冠は真赤で、お身體は真白ですし、如何にも好いやうですワ。其代り一生懸命、貴郎をお大切にしますよ』と。所が鷄王は喜ぶと思ひの外『何だ。この黄色い眼の小さな愚物、由緖をさせて喰はうと思つてゐる癖に。お氣の毒だが其手には乗らぬよ。お大切にが呆れたもんだ。貴樣と一緒になれば、此方の命が無いワイ』と、四十雀の大膽鐵砲を喰はした。

後あらん

▲東京で自動車學校に入りたいのですが何處が確實な學校でしやうか又近眼では駄目ですか皆様の御内で御承知なれば何卒お知らせ下さいませ（三條さ）
▲私は貴社の聯珠競技欄を見て樂みにいたし居ります就ては京城府民に聯珠競技入會を催されては如何です僕は一番に申込みます餘程くは皆様の主催で開催して戴けませんか（王章）▲執行時期を見て催したいと思つてゐます充分腕を磨いておいて下さい（係）
▲小生昨年の流行風邪をいさゝか快復はしたが其後いつも咽喉にたんがあつて困つて居りますが愛讀者の中に良藥を知つて居られる方は藥名住所氏名を本欄に御知せ下さいませんか（京釜線安養驛前李明宰）
▲鹿北の新日部ヶ位の手腕家を頭領に通知部位にしてうんと振はせて下さい（道民總代）
▲當市内自轉車店の内に中村正行と云ふ人が居りますが居處御存じの方は至急當方へ御知らせ下さいませんか貴重なる紙上を拜借して皆様へ御願ひ致します（愛讀者二番前の知人）
▲滿鐵の安藤より乗込む隆摩の守社員獵士の獵犬芝獵犬は大頭痛です夫れよりは臨山五十錢にするとの風聞がありますが事ですか若し事實とすれば我等貧乏獵夫より正當の運賃を取立てた方が餘程しますよ試みに部長殿の不眠性を利用し日曜日の狩獵列車に御乗込になれば悲慘の從行者は一人にて誰だもしきは二三匹を連れ込みつゝある事を保證します（貧乏獵夫）

聯珠競技（第四十九回）

初段格　木谷花石
初段　永野斗昇
先手勝



△白『一六』の後『いろは』の勝
〇六段内田更石評　黑『七』八室珠なり、黑『九』と見せ『一二』と引き白を棄てたる手段好し

演藝案内

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店　本町一丁目　電話八七三　**大正館**
一月六日より新春第二次大提供 ◎寫『高架索サラシカウス打』文芸劇『若くなる藥』長尺
日活向島派撰範的大悲劇　民田幹彦先生原作　現代悲劇 **呼子鳥** 全六卷
可憐きすらひの身の悲しさと夫にまつはる熱火の様な戀心を描て綿綿たる…に初つて涙に終る悲痛…の撮影
悲劇 **櫻の光** 全五卷
歐米劇壇に於ける日本劇にて…せる…子嬢及早川雪洲氏主演
大阪毎日新聞連載小說 新講談連續大活劇 後篇 **岩見重太郎** 全七卷
前篇は好評を博しました…大阪毎日新聞連載小說…の面白味…前篇の面白き…の大車輪の趣味津々たる後篇火の…立の大仇討
◎毎月一日十五日日曜祭日晝夜開館

黃金町　電話一六三七　**黃金館**
一月六日より上場　全三十三卷の内第五篇六篇四卷
人情劇 **魔人**
伊太利カソラカンの偉大なる力の… 人情劇 **世界の眼** 四卷
大活劇 中野…太郎…秋元…派 連續活劇 **覆面の女** 全五卷
…シスつカート氏主演…
三十卷の内第三第四篇
怪物の生…の手にかゝりしベ…生か死か…に…の生命
時代劇 **八百屋お七** 全五卷
近來稀れに見る東都至る所多大なる好評を得たる有名の…お七の最後まで…評ある大…
市川壽十郎一座…て…にまで晝夜二回開館いたします

壽町　電話一六〇番　**浪花館**
一月一日ヨリ開演
▲嬉家扇三一行來る
…三…三遊亭…三木…橘…家…八木…、柳家…三

本町一丁目　有與館　電話一五九七番　**喜樂館**
一月六日より引續特別三大映畫上場 エイロロよりアンドマツト…
日活東京向島派傑作品封切
新派悲劇 **姉の心** 全五卷
最近大奇劇 …東洋唯一の大設備を有する東京撮影部…
虎の足跡 全卅一卷の内…
興味深き問題の虎の顔の…投書も…
大阪日日新聞連載講談
後篇 **尾張三郎丸** 後篇七卷
…した新講談三郎丸前篇は…
…で日活が…大の費用を…
館時に料金普通

本町一丁目　電話七八五　**壽館**
一番目 喜劇 思ひ違ひ 二場
二番目 喜劇 …二場
三番目 社會劇 情け 二場
四番目 喜劇 師情話 三場

本町五丁目 電車終點　電話二三二八番　**浪花座**
一月十二日より六回目替り狂言
前 岩見武勇傳 …
中 …
切 …
客席にはストーブの設備あり

流經新薬 **レスタリン** 月經
閉止四五ヶ月以内に確實に流經せしめ作用容易に…優秀なく應用の目的を達し得る能力を有せり
送料四拾五錢 切手代用一割増 三錢切手添申越呈 振替大阪二六三吉番
大阪北區曾根崎上二丁目三六地 **常盤藥院**

金銀
地金商
徳力本店
出張所
京城明治町一丁五九番地
電話一五七二番

電力使用
意匠スリガラス
機械調製
繪書 文字 商標 定紋 模様 御好應
硝子板專業
三田政商店
京城本町二

世界一の靈藥 中將湯

寢る前の一服

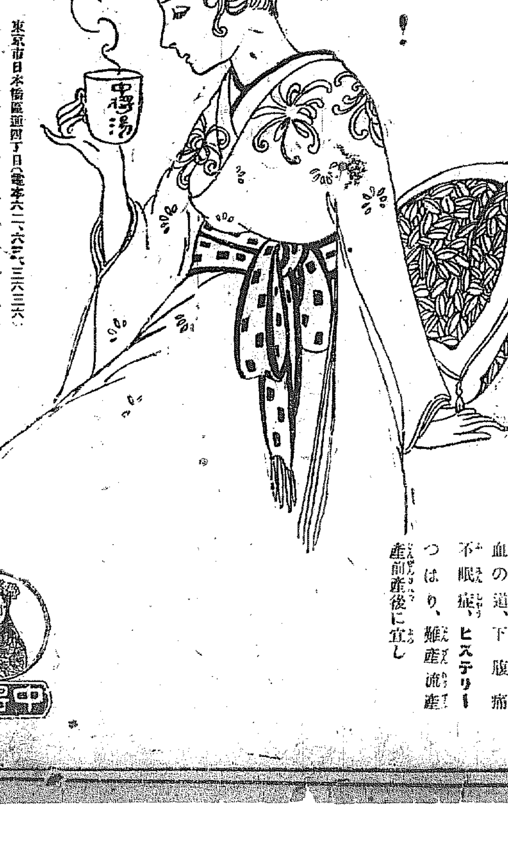
翌日のよい氣分！

冷込知らず！

何時か全快する婦人病！

こしけ、血の道、子宮病！

〇〇〇〇〇〇 各國の婦人の愛用盛んなり 〇〇〇〇〇〇



本舗 津村順天堂
東京市日本橋區通四丁目（電本六二、六六六、三六三六）
大阪市南區大寶寺町（電南二五）

中將湯主効
腰足冷込、こしけ
子宮病、内膜炎
血の道、下腹痛
不眠症、ヒステリー
つはり、難產流產
產前產後に宜し

嚴寒にも保溫作用がある
理想的のアレードメ

クレームレート

若々しくする美膚料

冬は總か空氣も凍らうといふ寒い時でも、クレームレートばかりは、常に心地よい程度の溫度を持つてゐまして、お肌にお召になつて心持が宜いばかりでなく、寒さのためにお肌の氣孔が塞がつてゐるのを靜かに押開いてお肌の中にするすると解込み、寒氣やその他のために硬化し從つて荒れ易いお肌を軟かにし脂肪や血液の循環を助け、新陳代謝を早め、お肌に營養作用と美化作用とを與へ、外氣に對する抵抗力を增進致します。ですからドンナ寒い時でも之れさへお召になれば、決してお肌を荒す心配なく滑かに、艶々と、何時も若々しいお肌の持主となることが出來ます。

東京 大阪 平尾贊平商店

汽車 京釜 同 湖南線 京 同 馬山線 京